N E C

Express5800 シリーズ

ESMPRO[®]/AutomaticRunningController

Ver5.0

UL1046-G01 UL1046-HG01 UL1046-JG01

セットアップカード

このたびは ESMPRO/AutomaticRunningController Ver5.0をお買い上げ頂き、誠にありが とうございます。

本書は、お買い上げ頂きましたセットの内容確認、セットアップの内容、注意事項を中 心に構成されています。 ESMPRO/AutomaticRunningController Ver5.0をお使いになる前に、 必ずお読みください。

Microsoft、Windows、Windows Server、Hyper-V は、米国 Microsoft Corporation の米国お よびその他の国における登録商標です。

CLUSTERPRO、ESMPROは、日本電気株式会社の登録商標です。

Smart-UPS、PowerChute、APC は、Schneider Electric Industries SAS またはその関連会社 の登録商標または商標です。

その他の会社および製品の名称は、総てそれぞれの所有する登録商標または商標です。

目次

第1章	製品内容	4
第2章	セットアップの準備	5
2.1	ESMPRO/AutomaticRunningController のセットアップ環境	5
2.2	ESMPRO/AutomaticRunningController の構成例	8
第3章	セットアップの方法	
3.1	ESMPRO/AutomaticRunningControllerのインストール	9
3.2	ESMPRO/AutomaticRunningControllerのアンインストール	
3. 3	ESMPRO_AC 環境ウィザードによる設定	
3. 3.	1 ESMPRO/AutomaticRunningControllerの動作環境の設定(環境設定ウィザードボタン)	
3. 3.	2 マルチサーバ構成の設定(「マルチサーバの構成の設定」 (AMCの起動) ボタン)	
3.4	ライセンスキーの登録	23
第4章	スケジュール運転の設定	25
4.1	スケジュール運転によるサーバの自動運転	
第5章	注意事項	31
5.1	セットアップ関連	
5.2	運用関連	31
5.3	ESMPRO/UPSManager(PowerChute Business Editionセット)連携関連	
5.4	通言术一卜番号舆重	
5.5	共有フォルダ関連	
5.6	AC-LINK 関連	
第6章	障害発生時ごは	40
6.1	ESMPRO/AutomaticRunningController ログ	
6.2	ESMPRO/AC マルチサーバオプションログ	
6.3	イベントログ	
6.4	クラスタシステムのログ採取	
6.5	ESMPRO/UPSManager のロク採取	
6.6	PowerChute Business Editionのログ採取	
6.7	バージョン情報	
6.8	SMP カードからの情報深取	
6.8.	1 SNPカードの情報(A)	
6.8.	.2 SMPカードの情報(B)	
6.8.	.3 SMPカードの情報(C)	
6.9	Collect ログおよびIPMI ログ	

第1章 製品内容

ESMPRO/AutomaticRunningController Ver5.0のパッケージの内容は、製品に同梱されている構成品表に記載されています。

添付品が全部そろっているかどうか、確認してください。

第2章 セットアップの準備

ESMPRO/AutomaticRunningController をご使用になるためには、コンピュータの環境を準備していただく必要があります。本章の要件を満たした後に ESMPRO/AutomaticRunningController の セットアップを実行してください。セットアップの方法は、第3章で詳しく説明しています。

2.1 ESMPRO/AutomaticRunningController のセットアップ環境

ESMPRO/AutomaticRunningControllerをセットアップするためには、次の環境が必要です。

ハードウェア

<サーバ>

•	対象機種	:	Express5800シリーズ、	iStorage	NSシリーズ
•	メモリ	:	3. 5 M B 以上		

- 固定ディスクの空き容量 : 7.0MB以上
- HW/BIOS機能(*)
 : UPSを使用しない構成でWOL(WakeOnLAN)機能を 使ってサーバのリモート起動、リモートシャット ダウンを利用する場合は、WOL(WakeOnLAN)機能 を実装しているサーバOSのシャットダウンで、 電源OFFが可能なサーバ

(*)

サーバ本体HWが提供する機能を利用するため、機種によっては機能が提供されていない場合があります。

これらの機種は、リモート起動を含め自動運転の起動機能は実現できません。また、スタートメニューなどからのシャットダウンの起動にてサーバの電源がOFF されないサーバでは、自動運転の停止機能の場合にも同様に電源がOFFできません。この場合には、その後の自動起動も出来ません。

これらの機能制限は、サーバ本体のHW仕様等に依存するため、導入の際には、予め使用するサーバ本体HWおよびOSを確認してください。

(同一装置であってもBIOSのバージョンに依存する場合もあります。)

※ PowerChute Business Edition、ESMPRO/UPSManager(PowerChute Business Edition)と連携して自動運転を行う場合にはSmart-UPS相当無停電電源装置が必要になります。Smart-UPS相当無停電電源装置とサーバの接続方法や運用方法は、Smart-UPS相当無停電電源装置添付の取扱説明書を参照してください。

<クライアント>

- 対象機種 :PC98-NXシリーズ、PC-AT互換機、Express5800シリーズ
- メモリ
 :2.0MB以上
- 固定ディスクの空き容量:3.0MB以上

ソフトウェア

<サーバ>

• O S

Windows Server 2012 R2 Standard/Datacenter

Windows Server 2012 Standard/Datacenter

Windows Server 2008 R2 Standard/Enterprise

- Windows Server 2008 Standard/Enterprise
- Windows Server 2003 R2 Standard Edition/Enterprise Edition/Small Business Server
- Windows Server 2003 Standard Edition/Enterprise Edition/Datacenter Edition/Small Business Server
- Windows Storage Server 2012 R2
- Windows Storage Server 2012
- Windows Storage Server 2008 R2
- Windows Storage Server 2008
- Windows Storage Server 2003 R2 $\,$
- Windows Storage Server 2003

Windows 8 Pro

- Windows 7 Professional
- Windows Vista Business
- Windows XP Professional
- ※ ESMPRO/AutomaticRunningControllerをx64のOSで動作させる場合、WOW64がサ ポートされている必要があります。

連携ソフトウェア

.

[ESMPRO/UPSManager(PowerChute Business Editionセット)連携による自動運転]

- : ESMPRO/UPSManager(PowerChute Business Editionセット)
- :SNMPサービス

マルチサーバ構成で運用する場合は、ESMPRO/AC Enterprise または ESMPRO/AC Advance、ESMPRO/ACBlade 管理オプション等をインストールしてくだ さい。

<クライアント>

• 0 S

Windows Server 2012 R2 Standard/Datacenter
Windows Server 2012 Standard/Datacenter
Windows Server 2008 R2 Standard/Enterprise
Windows Server 2008 Standard/Enterprise
Windows Server 2003 R2 Standard Edition/Enterprise Edition/Small Business Server
Windows Server 2003 Standard Edition/Enterprise Edition/Datacenter Edition/Small Business Server
Windows 8 Pro
Windows 7 Professional
Windows XP Professional/Home Edition

- ※ ESMPRO/AutomaticRunningControllerをx64のOSで動作させる場合、WOW64がサ ポートされている必要があります。
- ※ ESMPRO/AutomaticRunningControllerは、Smart-UPS相当無停電電源装置を制御 する場合にはESMPRO/UPSManager (PowerChute Business Editionセット)と連携し ます。<u>サーバには、使用する無停電電源装置に応じて適切な制御ソフトウェア</u> をあらかじめセットアップしておいてください。

最新の動作環境については、本製品のご紹介サイトでご確認ください。URL情報は製品添付品 をご確認ください。

2.2 ESMPRO/AutomaticRunningController の構成例



(2) Smart-UPS構成 (UPSシリアル接続)



(3) Smart-UPS (SNMP) 構成 (UPS LAN接続)



- ・ESMPRO/AutomaticRunningController をインストールするサーバには、Smart-UPS 相当無停電電源装置を使用する場合は、ESMPRO/UPSManager (PowerChute Business Edition セット)を、あらかじめインストールしておく必要があります。
- ・複数サーバでマルチサーバ構成を組む場合の構成例は、ESMPRO/AC Enterprise、ESMPRO/AC Advance、 ESMPRO/ACBlade 管理オプション等(共にオプション製品)の資料をご参照ください。

第3章 セットアップの方法

3. 1 ESMPRO/AutomaticRunningController のインストール

- AdministratorもしくはAdministrator権限のあるユーザでコンピュータにログオンし、ラベル に『ESMPRO/AutomaticRunningController CD 2.0』と記載されているCD-ROMをCD-ROMドライブ にセットします。
- (2) CD-ROMドライブの『Setupac.exe』を起動します。

🏘 ESMPRO/AutomaticRunningController関連製品セットアップ				
41 / L				
「町川ドをつ選択」			1	
	073	ンインストール		
]	
インストール/アンインストールを実施する製品を選択し	、チェックをつけてくだ	idu.		
なお、インストール済に表示されている情報は以下のとおりて	ূৰ.			
○…同じバージョンの製品がインストール済				
 	されているバージョン	を併記)		
サーバ系製品群 クライアント系製品群				
製品名	バージョン	インストール済		
ESMPRO/AutomaticRunningController	5.0	×		
ESMPRO/AC Enterprise	5.0	×		
ESMPRO/AC Advance	5.0	×		
■ ESMPRO/ACBlade 管理オブション	5.0	×		
ESMPRO/AC MSCSオプション	5.0	×		
ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション	v 5.0	×		
ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション	5.0	×		
■ESMPRO/ACBlade マルチサーバオブション	5.0	×		
		60	1	
美行 美行 一		桥管子		

- (3) 「ESMPRO/AutomaticRunningController」のセットアップには「サーバ系製品」と「クライアン ト系製品」があります。
 - ◆ ESMPRO/AutomaticRunningControllerのサーバ系製品をインストールする場合、「動作を選択」 のラジオボタンで「インストール」を選択したあと、サーバ系製品群タブの中から ESMPRO/AutomaticRunningControllerを選択し、チェックを有効にします。

🍻 ESMPRO/AutomaticRunningController関連製品	セットアップ	×
_ • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		
	C 7	
10 12Ar=10	Orv	177L-10
- インストール/アンインストールを実施する製品を選択し、	チェックをつけてくだれ	きい。
なお、インストール済に表示されている情報は以下のとおりで	す。	
○…同じバージョンの製品がインストール済		
Δ…異なるバージョンの製品がインストール済(インストールる ×…未インストール	\$れているバージョンを	任併記)
サーハ糸製品群クライアント糸製品群		
製品名	バージョン	インストール済
SMPRO/AutomaticRunningController	5.0	×
ESMPRO/AC Enterprise	5.0	×
ESMPRO/AC Advance	5.0	×
■ ESMPRO/ACBlade 管理オブション	5.0	×
□ESMPRO/AC MSCSオプション	5.0	×
■ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション	5.0	×
■ESMPRO/AC Advance マルチサーバオブション	5.0	×
■ESMPRO/ACBlade マルチサーバオブション	5.0	×
1		
		(b
美行		桥了

サーバ系製品群タブの中から、ESMPRO/AutomaticRunningControllerのチェックを有効にした 場合、ESMPRO/AutomaticRunningControllerのオプション製品(ESMPRO/AC Enterprise、 ESMPRO/AC Advance等)も同時に選択可能となり、順次インストールすることができます。 ◆ ESMPRO/AutomaticRunningControllerのクライアント系製品をインストールする場合、「動作 を選択」のラジオボタンで「インストール」を選択したあと、クライアント系製品群タブの 中からESMPRO/AutomaticRunningControllerを選択し、チェックを有効にします。

🎊 ESMPRO/AutomaticRunningController関連	製品セットアップ	X
_ 動作を選択		
◎ インストール	0 アン・	インストール
インストール/アンインストールを実施する製品を選	択し、チェックをつけてくださ	ι
なお、インストール済に表示されている情報は以下のとお	5りです。	
○…同じバージョンの製品がイソストール済 △…異なるバージョンの製品がインストール済(インス) ×…未インストール	トールされているバージョンを	洋記)
サーバ系製品群 クライアント系製品群		1
製品名	バージョン	インストール済
ESMPRO/AutomaticRunningController	5.0	×
ESMPRO/AC Enterprise	5.0	×
ESMPRO/AC Advance	5.0	×
■ ESMPRO/ACBlade 管理オブション	5.0	×
実行		終了

- (4) 「実行」ボタンを選択します。
- (5) 選択した製品のインストール確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択します。

ESMPRO/	AutomaticRunningController セットアップ	\times
?	以下製品のインストール処理を行います。 よろしいでしょうか?	
	<サーバ系製品> ESMPRO/AutomaticRunningController Ver5.0	
	<u>(北い)()</u> いいえ(N)	

(6) サーバ系製品を選択した場合、ライセンスキーの入力が促されますので、ライセンスキーを入力し、「OK」ボタンを選択します。

ESMPRO/AC関連製品セットアップ	×			
次の製品のソフトウェアライセンスキーに記載されているライセンスキーを入力し てください。				
ESMPRO/AutomaticRunningController Ver5.0				
OK キャンセル				

(7)入力したライセンスキーが認証されると、ESMPRO/AutomaticRunningControllerのセットアップ が開始されますので、「次へ」ボタンを選択します。

ESMPRO/AutomaticRunningController セットアッフ*				
	ESMPRO/AutomaticRunningController セットアッフ*へようこ そ			
	このプログラムは、ESMPRO/AutomaticRunningController を コンピュータにインストールします。このセットアッププログラムを実行する前に、 すべてのWindowsプログラムを終了することを推奨します。			
	< 戻る(日) 次へ、(11)> キャンセル			

(8)続いて、インストール先を選択します。表示されているフォルダとは別のフォルダにインストー ルする場合は、「参照」ボタンをクリックしてインストール先のフォルダを選択します。 インストール先が決定したら、「次へ」ボタンを選択します。

ESMPRO/AutomaticRunningController セットアッフ*	×
インストール先の選択 ファイルをインストールするフォルタを選択します。	A.
セットアップは、次のフォルダに ESMPRO/AutomaticRunningController をインストールします。	
このフォルダへのインストールは、D欠へ3本後ンをクリックします。	
別のフォルダヘインストールする場合は、「参照]ボタンを夘ックしてフォルダを選択してください。	
- インストール先のフォルダー	4 P7 (D)
C:¥Program Files¥AUTORC	
InstallShield	
< 戻る(B) (二次へ)(M)>	キャンセル

- (9) ファイルの転送が開始されます。
- (10) 次の画面が表示されたら、インストールの完了です。「完了」ボタンを選択します。

ESMPRO/AutomaticRunningController セットアッフ*					
	InstallShield Wizard の完了 セットアップでは、コンビ [®] ュータへのESMPRO/AutomaticRunningControllerの インストールを完了しました。フログラムを使用する前に、コンビ [®] ュータを再起動し てください。				
< 戻る(B) 元7 キャンセル					

(11) 最初の画面に戻り、ESMPRO/AutomaticRunningControllerのインストール済欄に〇およびバー ジョンが表示されていることを確認します。

ESMPRO/AutomaticRunningController関連製品	セットアップ	<u>×</u>
チャノケーナン221日		
「単川「ドで「「「「」」「「「」」		
© <u>インストール</u>	0 72	パンストール
インフトニル・ノマンインフトニルを実施する制品を選択	ニー・ハウをつけてくだ	」 オ い
) 1972-20 CQU	CV '0
なお、インストール済に表示されている情報は以下のとおりで	す。	
○…同じバージョンの製品が行みたル済、またのよう。		L-12
 	れているハーションを	21开記)
サーバ系製品群(クライアント系製品群)		
製品名	バージョン	インストール済
ESMPRO/AutomaticRunningController	5.0	○(5.0)
ESMPRO/AC Enterprise	5.0	X
ESMPRO/AC Advance	5.0	×
□ESMPRO/ACBlade 管理オブション	5.0	×
■ESMPRO/AC MSCSオプション	5.0	×
ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオブション	5.0	×
■ESMPRO/AC Advance マルチサーバオブション	5.0	×
■ESMPRO/ACBlade マルチサーバオブション	5.0	×
1		
実行		終了

注意

- 引き続き、ESMPRO/AutomaticRunningControllerのオプション製品(ESMPRO/AC Enterprise、 ESMPRO/AC Advance、ESMPRO/ACBlade管理オプション、ESMPRO/AC MSCS オプション)をインス トールする場合は、Setupac.exeからのインストール作業を続行してください。インストール 後は、Setupac.exeを終了してシステムを再起動してください。
- ・ 上書きインストールの場合は、上記(6)~(8)の手順が省かれ、インストールが実行されます。インストール 先を変更することはできません。また、上書きインストールでは、これまでの運用で設定した情報を保持したまま、 モジュールのコピーを行います。
- PowerChute Business Edition、ESMPRO/UPSManager (PowerChute Business Edition)と連携して 運用する場合は、必ず「ESMPRO_AC環境ウィザード」で動作環境の設定を行ってください。 バージョンアップセットアップおよび上書きインストールの場合も、同様ご設定を行ってください。
- セットアップの実行中に<終了>及び<キャンセル>ボタンを押すと、セットアップ中止の確認の メッセージが表示されます。そのメッセージボックスで<終了>ボタンを押すと、セットアッ プは中止されます。その場合、途中まで転送されたファイルの削除は行われませんのでご注意 ください。

3. 2 ESMPRO/AutomaticRunningController のアンインストール

注意

- 対象サーバに ESMPRO/AutomaticRunningControllerのオプション製品(ESMPRO/AC Enterprise、 ESMPRO/AC Advance、ESMPRO/ACBlade 管理オプション、ESMPRO/AC MSCS オプション)がインス トールされている場合は、先にそれらの製品のアンインストールを実行します。(方法につい てはオプション製品のセットアップカードを参照してください。)
- 対象サーバに CLUSTERPRO がインストールされている場合は、CLUSTERPRO のサービスを停止します。(CLUSTERPRO サービスの停止方法については、CLUSTERPRO のマニュアルを参照してください。)
- (1) インストールを行ったAdministratorもしくはAdministrator権限のあるユーザでコンピュー タにログオンし、ラベルに『ESMPRO/AutomaticRunningController CD 2.0』と記載されている CD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。
- (2) CD-ROMドライブの『Setupac.exe』を起動します。

🏘 ESMPRO/AutomaticRunningController関連製品	セットアップ	X
┌動作を選択		
	07	シインストール
インストール/アンインストールを実施する製品を選択し、	チェックをつけてくた	 530%
なお、インストール済に表示されている情報は以下のとおりで	す。	
○…同じバージョンの製品がインストール済 Δ…異なるバージョンの製品がインストール済(インストールさ ×…未インストール	れているバージョン	を併記)
サーハ糸製品群 クライアント系製品群		6
製品名	バージョン	インストール済
ESMPRO/AutomaticRunningController	5.0	○(5.0)
ESMPRO/AC Enterprise	5.0	×
ESMPRO/AC Advance	5.0	×
■ ESMPRO/ACBlade 管理オブション	5.0	×
ESMPRO/AC MSCSオプション	5.0	×
■ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション	5.0	×
ESMPRO/AC Advance マルチサーバオブション	5.0	×
□ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプション	5.0	×
実行		終了

(3) 「ESMPRO/AutomaticRunningController」のセットアップには「サーバ系製品」と「クライア ント系製品」があります。 ◆ ESMPRO/AutomaticRunningControllerのサーバ系製品をアンインストールする場合、「動作を 選択」のラジオボタンで「アンインストール」を選択したあと、サーバ系製品群タブの中か らESMPRO/AutomaticRunningControllerを選択し、チェックを有効にします。

餐 ESMPRO/AutomaticRunningController関連製品	ት የእንድ የእንድ የእንድ የእንድ የእንድ የእንድ የእንድ የእንድ	×
↓ 動作を選択		
○ インストール	C 72	インストール
ー インストール/アンインストールを実施する製品を選択し、	、チェックをつけてくだる	さい。
なお、インストール済に表示されている情報は以下のとおりで	す。	
 ○…同じバージョンの製品がインストール済 △…異なるバージョンの製品がインストール済〈インストールス ×…未インストール サーバ系製品群 	熱ているバージョンを	6併記)
製品名	バージョン	インストール済
ESMPRO/AutomaticRunningController	5.0	⊖(5.0)
ESMPRO/AC Enterprise	5.0	×
ESMPRO/AC Advance	5.0	×
■ ESMPRO/ACBlade 管理オブション	5.0	×
ESMPRO/AC MSCSオプション	5.0	×
ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション	5.0	×
ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション	5.0	×
■ESMPRO/ACBlade マルチサーバオブション	5.0	×
実行		終了

 ◆ ESMPRO/AutomaticRunningControllerのクライアント系製品をアンインストールする場合、 「動作を選択」のラジオボタンで「アンインストール」を選択したあと、クライアント系製 品群タブの中からESMPRO/AutomaticRunningControllerを選択し、チェックを有効にします。

🚷 ESMPRO/AutomaticRunningController関連	製品セットアップ	×
*1/** ¹²²⁺⁰		
「「「「「「」」「「」」「「」」「」」「「」」「」」「」」「」」「」」「」」「		
○ インストール	 アン- 	インストール
インストール/アンインストールを実施する製品を選	訊し、チェックをつけてくたさ	ι io
なお、インストール済に表示されている情報は以下のとお	らりです。	
○…同じバージョンの製品がインストール済。		¥>
△…異なるハーションの製品かイソストール済(イソス) ×…未行)ストール	トールされているハーションを招	开記)
サーバ系製品群 クライアント系製品群		(
製品名	バージョン	インストール済
ESMPRO/AutomaticRunningController	5.0	⊖(5.0)
ESMPRO/AC Enterprise	5.0	×
ESMPRO/AC Advance	5.0	×
■ESMPRO/ACBlade 管理オブション	5.0	×
実行		終了

(4)「実行」ボタンを選択します。

(5) 選択した製品のアンインストール確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択します。

ESMPRO.	/AutomaticRunningController セットアップ	×
2	以下製品のアンインストール処理を行います。 よろしいでしょうか?	
	<クライアント系製品> ESMPRO/AutomaticRunningController Ver5.0	
	<u>(ぽい愛)</u> いいえ(N)	

(6) インストーラが起動され、もう一度確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択しま す。



- (7)ファイルの削除が行われます。
- (8) 次の画面が表示されたら、アンインストールの完了です。「完了」ボタンを選択します。

ESMPRO/AutomaticRunningController クライアント セットアップ				
	InstallShield Wizard の完了 セットアップは、コンビュータからのESMPRO/AutomaticRunningController クラ イアントのアンインストールを完了しました。コンビュータを再起動してください。			
	< 戻る(B) 売了 キャンセル			

(9) 最初の画面に戻り、ESMPRO/AutomaticRunningControllerのインストール済欄に×が表示され ていることを確認します。

🏘 ESMPRO/AutomaticRunningController関連製品	セットアップ	×
┌動作を選択		
○ インストール	• 7	シインストール
ー インストール/アンインストールを実施する製品を選択し、	チェックをつけてくた	 čali.
なお、インストール済に表示されている情報は以下のとおりで	す。	
○…同じバージョンの製品がインストール済 Δ…異なるバージョンの製品がインストール済(インストールさ ×…未インストール	れているバージョン	/を併記)
サーバ系製品群(クライアント系製品群)		
製品名	バージョン	インストール済
ESMPRO/AutomaticRunningController	5.0	×
ESMPRO/AC Enterprise	5.0	×
ESMPRO/AC Advance	5.0	×
■ ESMPRO/ACBlade 管理オブション	5.0	×
■ESMPRO/AC MSCSオプション	5.0	×
■ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション	5.0	×
■ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション	5.0	×
□ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプション	5.0	×
実行		終了

(10) アンインストール後は、Setupac. exe を終了してシステムを再起動してください。

3.3 ESMPRO_AC 環境ウィザードによる設定

「ESMPRO_AC環境ウィザード」により、ESMPRO/AutomaticRunningControllerの動作環境の設定を行う必要があります。

PowerChute Business Edition または ESMPRO/UPSManager (PowerChute Business Edition)と連携して自動運転を行う場合は、本設定を行う前に連携ソフトウェアをインストールしておく必要があります。

「ESMPRO_AC 環境ウィザード」を起動するには、「スタート」-「プログラム」-「ESMPRO_AutomaticRunningController」より、「ESMPRO_AC環境ウィザード」を選択してください。



3.3.1 ESMPRO/AutomaticRunningControllerの動作環境の設定(環境設定ウィザードボタン)

「環境設定ウィザード」ボタンを押すと、環境設定ウィザードが起動されます。 以下、環境設定ウィザードにおける、連携ソフトごとの設定項目を表す記号を示します。実際に運 用する環境に該当する項目のみご参照ください。

- □ UPS をネットワーク経由で制御し電源管理/自動運転を行う場合の設定項目
- ◎ PowerChute Business Edition と連携して自動運転を行う場合の設定項目
- △ UPS を使用せずに自動運転を行う場合の設定項目

Step1

□ UPS 本体装置に SNMP カードを実装した Smart-UPS 相当無停電電源装置で自動運転を行う 場合は、"UPS をネットワーク経由で制御し電源管理/自動運転を行う"を選択します。

この選択をするためには、『ESMPRO/AC Enterprise』のインストールが必須です。

 © ESMPRO/UPSManager (PowerChute Business Edition セット)と連携して Smart-UPS 相当無停 電電源装置で自動運転を行う場合は、 "PowerChute Business Edition と連携して自動運 転を行う"を選択します。

PowerChute Business Edition がインストールされていない場合、Step1の画面には、 PowerChute Business Editionの選択肢は表示されません。

△ UPS を使用せずに自動運転を行う場合は、"UPS を使用せずに自動運転を行う"を選択 します。

選択が完了したら、「次へ」ボタンを押します。

Step2

 Step1 で "PowerChute Business Edition と連携して自動運転を行う"を選択した場合、 PowerChute Business Edition と連携させるために必要なソフトウェア及びサービスがイ ンストールされているかどうかが表示されます。連携を行うのに必要なすべてのソフト ウェア及びサービスがインストールされていれば、SNMP サービス及び ESMPRO/UPSManager サービスとの接続確認を行うことができます。それらの接続が成功した場合は Step3 に進 みます。

(注意)

以下のソフトウェアが、未インストールまたはサービス停止中の場合、 以降の作業を行うことができません。

PowerChute Business Edition エージェントサービス UPSSleep.exe (PowerChute Business Edition オプション) ESMPRO/UPSManager サービス SNMP サービス

<SNMP サービスとの接続確認>

OS のサービスマネージャより、SNMP サービスの「プロパティ」→>「セキュリティ」 →>「受け付けるコミュニティ名」に登録したコミュニティ名を入力して、 「接続確認」ボタンを選択して、接続確認を行います。 <ESMPRO/UPSManager サービスとの接続確認> 「接続確認」ボタンで、ESMPRO/UPSManager サービスとの接続確認を行います。

○ Step1 で "UPS をネットワーク経由で制御し電源管理/自動運転を行う"または "UPS を使用せずに自動運転を行う"を選択した場合はStep3に進みます。

選択が完了したら、「次へ」ボタンを選択します。

Step3

これまでの設定内容が表示されます。

「完了」ボタンを選択すると、ESMPRO /AutomaticRunningController の動作環境の設定作業 は終了です。

「完了」ボタンを押すと、ESMPRO/AutomaticRunningController サービスが再起動され、 「ESMPRO_AC環境設定ウィザード」の設定内容が変更されます。

3.3.2 マルチサーバ構成の設定(「マルチサーバの構成の設定」(AMCの起動)ボタン)

ESMPRO/AC Enterprise または ESMPRO/AC Advance がインストールされている場合は、「マルチサー バ構成の設定 (AMC の起動)」ボタンを押すと、「AC Management Console」が起動されます。

3.4 ライセンスキーの登録

以下の条件でESMPRO/AutomaticRunningController関連製品をインストールした場合、ライセンス キー登録作業が必要です。

- ・ ESMPRO/AC Enterpriseをインストールして、ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション をインストールしたサーバを連動端末として使用する場合。
- ESMPRO/AC EnterpriseおよびESMPRO/ACBlade 管理オプションをインストールして、 ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションをインストールしたサーバを連動端末として使用す る場合。
- ESMPRO/AC Advanceをインストールして、ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションをイン ストールしたサーバを連動端末として使用する場合。
- DeploymentManagerを使用して、ESMPRO/AutomaticRunningController、ESMPRO/AC Enterprise、 ESMPRO/ACBlade 管理オプションをインストールした場合。
- ・ VMware ESXiを監視対象として登録する場合。
- (1) [スタート] -> [すべてのプログラム] -> [ESMPRO/AutomaticRunningController] -> [ESMPRO_AC ライセンス]を起動し、「追加」ボタンを選択します。

License Management Tool - ESMPRO/AC	×
ライセンスキーの追加/削除を行います。	OK キャンセル 追加 削除
ESMPRO/AutomaticRunningController Ver5.0 管理サーバの登録ライセンス ESMPRO/AutomaticRunningController ライセンス登録済 ESMPRO/AC Enterprise ライセンス登録済 管理対象サーバの登録ライセンス合計	 74 74
ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション 登録可能台湾 ESMPRO/ACBlade マルチサーバオブション 登録可能台数:0 ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション 登録可能台数	b:0 台 台 :0 台

(2) ライセンスキーの入力画面が表示されますので、ライセンスキーを入力し、「OK」ボタンを選 択します。

License Management Tool - ESMPRO/AC	×
ソフトウェアライセンスキーに記載されているライセンスキーを入力 してください。	
OK キャンセル	

(3) 下図のように登録したライセンスキーが表示されていることを確認します。

🚆 License Management Tool – ESMPRO/AC	×
ライセンスキーの追加/削除を行います。	OK キャンセル 道加 肖川除
ESMPRO/AutomaticRunningController Ver5.0 管理サーバの登録ライセンス	<u> </u>
ESMPRO/AutomaticRunningController ESMPRO/AC Enterprise 管理対象サーバの登録ライセンス合計	み み
ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション 登録可能台 ESMPRO/AC Blade マルチサーバオプション 登録可能台数:0 ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション 登録可能台数 	数:1 台 古 (:0 台

第4章 スケジュール運転の設定

4.1 スケジュール運転によるサーバの自動運転

自動運転を行うサーバのスケジュール登録を行うには、『ESMPRO/AutomaticRunningController GUI』の設定を行う必要があります。

以下を例に、スケジュール運転の設定方法を説明します。 ①月曜日から金曜日までは、8時00分に電源投入。17時00分に電源切断。 ②土日祝は、運用しない。

(1) ESMPRO/AutomaticRunningController GUIの起動

[スタート]メニュー →[すべてのプログラム] → [ESMPRO_AutomaticRunningController] → [ESMPRO_AC] を起動してください。

起動すると以下のような画面が表示されますので「スケジュール」ボタンを押してください。



(2) 「スケジュール」画面が表示されますので、画面内の "通常 09時00分から17時00分まで" (赤枠) を選択し「修正」ボタンを押してください。

クジュール					×
スクジュール表:	示 加ンダ	表示			
スケジュール	有効期間:	2011年08,	月から2021年07月まで	変更(<u>C</u>)	
 運用スケジュ					
通常	098500	リテカルら17時00テ)まで :		g定(S)
				10	5E(B)
					リβ余(<u>D</u>)
	OFF->	ONが1分差のス [、]	ケジュールは、リブートと認識	識します。	
	ОК		キャンセル	<u>^⊮フ°(H</u>)	
	1				
	"F	曜日から金曜	日までは 8時00分に	電源投入。17時00分に	雷源切断。"
	言見	定を行います	o		
	ž	役入時間を9時	約分→8時00分に3	変更し、「OK」ボタンを追	選択してくださ
∽ル修正	↓	X			
重転時間		□ 運転休止			
	投入時間: 0	19 時 00 分	━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━= 投入時間:	09 時 00	分
通常項目					
wyh:	奶昕時間: 1	/ 时 100 分			
OK	キャンセル	∿⊮ን°(<u>H</u>)		+	

(3) 「スケジュール」 画面に戻りますので、(2) で変更した時間が反映されているか確認を行います。 問題なければ、「設定」 ボタンを選択して、"②土日祝よ、運用しない。"の設定を行います。

認定」画面が表示されましたら「祭日休日指定」タブを選択します。赤枠内全てのチェックを有効にします。
 ②次に「曜日指定」タブを選択します。

同じく赤枠内のように、「複数曜日」と「日」、「土」、「運転休止」のチェックを有効にして「OK」ボタンを選択 してください。

③「スケジュール」画面に戻りますので、「OK」ボタンを選択してください。

④青枠のようなメッセージ画面が表示されますので、全て「はい」または「OK」ボタンを選択してください。



- (4) 以下のような画面に戻りましたら、「監視要因」ボタンを選択してください。
 - ①以下のような画面が表示されましたら、「投入要因」タブと「切断要因」タブ内にある、"基本部"欄の 「スケジュール」のチェックを有効にしてください。 その後「0K」ボタンを選択してください。
 - ②メッセージ画面が表示されますので、「OK」ボタンを選択してください。

ESMPRO/Aut	omaticRunningControlle	t			
設定(<u>C)</u> ヘルフで <u>日</u>) 				
<u> </u>		\rightarrow	UPS		
サー か	120RJ-2 状態 : 267中 :置 : S-UPS(Po : : 正常運転 : : UPS 07.1 : AUTO : : AUTO : : AUTO : : AUTO : : AUTO : : AUTO : : AUTO : : AUTO : : AUTO	werChute Business Edition) (Version 5.00) / MCU 07.1			
() 監視要因	لاً - ב [°] وَלَرَّ لَ	y₂y y₂+kÿ₂r Q			
0	キャンセル	<u>୬</u> ャットダ"ウン(<u>D</u>) ^ルフ°(H)		
影物更用	1				
					×
投入要因	切断要因		2 一日 日本	因	×
田は安全区 投入要因 屋本部 ☑ 2か	切断要因 	LAN投入情報(L)		因 LAN切断情報(①)	×
田内 また 投入要因 レ 基本部 レ スケン	│切断要因	LAN投入情報(L) - 入口945		因 LAN切断情報(1) - スロット5 未実装	×
田枝まさ 投入要因 レスサン レスカン ー 未実装 - スロット2	切断要因 ^ペ ュール	LAN投入情報(L) - 入口ット5 - 未実装 - 入口ット6		因 LAN切断情報() - スロット5 - 未実装 - スロット6	×
田 投入要因	↓切断要因 [*] ュール	LAN投入情報(L) - スロット5 - 未実装 - スロット6 - 未実装 - 未実装		因 LAN切断情報(1) - スロット5 - スロット5 - 未実装 - スロット6 - 未実装 - スロット6 - 未実装 - スロット7	×
田枝美区 投入要因 基本部 「フカット スロット スロット スロット スロット スロット スロット スロット スロット	切断要因 ^パ ュール	LAN投入情報① - スロット5 - 未実装 - スロット6 - 未実装 - スロット7 - 未実装		因 LANU仍所情報(L) - スロット5 - 未実装 - スロット6 - 未実装 - スロット7 - 未実装	
田 校主区 投入要因 - 基本部 マスワット - スロット1 未実装 - スロット2 未実装 - スロット2 - スロット2	↓切断要因 ^Y ュール	LAN投入情報(L) - 入口ット5 - 未実装 - 入口ット6 - 未実装 - 入口ット7 - 未実装 - 入口ット7 - 未実装 - 入口ット7 - 未実装		因 LAN切断情報(小) - スロット5 - スロット5 - スロット6 - 未実装 - スロット6 - 未実装 - スロット7 - 未実装 - スロット7 - 未実装 - スロット8 - 未実装	
田枝美区 投入要因 基本部 「フカット スロット 本実装 スロット4 未実装 スロット4 未実装	↓切断要因 ^ペ ュール	LAN投入情報(小) - スロット5 - 未実装 - スロット6 - 未実装 - スロット7 - 未実装 - スロット7 - 未実装 - スロット8 - 未実装	法保安区 投入東因 切断項 空本部 「レスワジュール」 「LAN スロット1 未実装 スロット2 スロット2 未実装 スロット3 未実装 スロット4 未実装 スロット4 未実装	因 LAN切断情報(L) - スロット5 - 未実装 - スロット6 - 未実装 - スロット6 - 未実装 - スロット7 - 未実装 - スロット8 - 未実装 - スロット8 - 未実装 - スロット8 - 未実装	
田枝美区 投入要因 - 基本部 「マスジ - スロット2 未実装 - スロット2 未実装 - スロット2 未実装 - スロット2 未実装 - スロット2 未実装	↓切断要因 ⁴ 1ール 2 3 	LAN投入情報(L) - スロット5 - 未実装 - スロット6 - 未実装 - スロット7 - 未実装 - スロット8 - 未実装 - スロット8 - 未実装		因 LAN切断情報(1) - スロット5 - スロット5 - スロット5 - スロット6 - 未実装 - スロット7 - 未実装 - スロット7 - 未実装 - スロット8 - ホッマ*止)	
投入要因 登本部 「フカット スロット2 未実装 スロット2 未実装 スロット2 未実装	切断要因 ² →-ル	LAN投入情報(小) - スロット5 - 未実装 - スロット6 - 未実装 - スロット7 	法 (現実区) 投入東因 切断得 ジャニール ア 279*1-ル レ 279*1-ル LAN スロット1 未実装 スロット2 未実装 スロット3 未実装 スロット4 未実装 ・ OR条件 OK	因 LANt70bft情報(小) - スロット5 未実装 - スロット6 未実装 - スロット6 未実装 - スロット7 未実装 - スロット7 未実装 - スロット7 未実装 - スロット8 未実装 - スロット8 未実装 - スロット8 - 未実装 - スロット8 - ホーマット8 - ホーマット9 - ホーマーマット9 - ホーマット9 - ホーマッ - ホーマット9 - ホーマーマッ - ホーマッ - ホーマー - ホーマッ - ホーマー - ホーマー - ホーマー - ホーマー - ホーマー - ホー	
世代末代 投入要因 ● 基本部 「マスジ ・ 大口ット2 未実装 ・ スロット2 未実装 ・ スロット2 未実装 ・ スロット2 未実装 ・ スロット2 未実装 ・ 、 スロット2 ・ 大見 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	↓切断要因 ¹ 1-ル 2 3 3 0K 1 (2) utomatic RunningCor	LAN投入情報(小) スロット5 未実装 スロット6 未実装 スロット7 未実装 スロット7 未実装 スロット8 未実装 パンロット8 未実装 パンロット8 未実装 パンロット8 未実装	August Bulk august Bulk august Bulk august Bulk august Bulk august Bulk august Bulk august Bulk august Bulk august August Ougust August Outher OR Ougust OR Outher ONK	因 LAN切断情報(小) - スロット5 - スロット5 - スロット6 - 未実装 - スロット7 - 未実装 - スロット7 - 未実装 - スロット8 - 未実装 - スロット8 - 未実装 - スロット8 - 未実装 - スロット8 - 未実装 - スロット8 - ホット8 - ホット9 - ホット9 - ホット9 - ホット9 - ホット8 - ホット9 - ホット9 - ホット9 - ホット9 - ホット9 - ホット8 - ホット9 -	
田校夫校 投入要因 レンスのトロ 大スのトロ 未実装 スのット2 未実装 スのット2 未実装 ころのット2 未実装 をあい たままま たままま たままま たままま たままま たままま たままま たま	「切断要因」 [↑] ュール ² 3 • • • • • • • • •	LAN投入情報(小) - スロット5 未実装 - スロット6 未実装 - スロット7 - 未実装 - スロット7 - 未実装 - スロット7 - 未実装 - スロット8 - 未実装 - オロット8 - 未実装 - オロット8 - ホット7 - ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	August 投入要因 切時所要 を本部 ビスフジョール LAN 人口ット1 未実装 入口ット2 未実装 入口ット3 未実装 へ口ット4 未実装 へロット4 未実装 のR条件 のK	因 LANt70bft情報(小) スロット5 未実装 スロット6 未実装 スロット7 未実装 スロット7 未実装 スロット8 未実装 条件式 キャンセル ハルフ°(<u>H</u>)	
投入要因 ・ 基本部 「マスジャー 未実装 ・ スロット2 未実装 ・ スロット3 未実装 ・ スロット4 ・ 大国シト4 ・ ま実装 ・ 、 このシト4 ・ ま実装 ・ 、 このシト4 ・ ま実装 ・ 、 このシト4 ・ ま実装 ・ このシト4 ・ このシト4 ・ ま実装 ・ このシト4 ・ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	↓ 切断要因 /ュール 2 3 3 0K 4+2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	LAN投入情報(1) - スロット5 - 未実装 - スロット6 - 未実装 - スロット7 - 未実装 - スロット7 - 未実装 - スロット8 - 未実装 - スロット8 - 未実装 - スロット8 - 未実装 - スロット8 - 未実装 - スロット8 - 未実装 - スロット7 	August	因 LAN切断情報(小) - スロット5 - スロット5 - スロット6 - 未実装 - スロット7 - 未実装 - スロット8 - 未実装 - スロット8 - 未実装 - スロット8 - 未実装 - スロット8 - 未実装 - スロット8 - ホッンセル - ハルフ°(土)	
田校主区 投入要因 レンスのトロ 未実装 スロット2 未実装 スロット2 未実装 スロット2 未実装 を たまま たまま たまま たまま たまま たまま たまま たまま たまま た	↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	LAN投入情報(小) - スロット5 - スロット5 - 未実装 - スロット6 - 未実装 - スロット7 - 未実装 - スロット7 - 未実装 - スロット8 - 未実装 - スロット8 - 未実装 - スロット8 - 未実装 - スロット8 - ホーク - ホー	August	因 LANt70bft情報(小) - スロット5 未実装 - スロット6 未実装 - スロット7 未実装 - スロット7 未実装 - スロット7 未実装 - スロット8 未実装 - スロット8 未実装 - スロット8 - スロッ - スロット8 - スロッ - スロット8 - スロッ - スロッ -	

(5) 以下のような画面に戻りましたら、「OK」ボタンを選択してください。



以下のような画面が表示されますので、「OK」ボタンを選択してください。

「OK」ボタンを押しますと、ESMPRO/AutomaticRunningController GUI が終了します。

	ESMPRO/AutomaticRunningController 🛛 🗙	
	(1) 自動運転情報の設定が正常終了しました。	
	<u>ОК</u>	
ESMPR	O/AutomaticRunningController	×
2) ESMPRO/AutomaticRunningControllerメニューを終了しま よろしいですか?	:इ.
	キャンセル	

(注意事項)

スケジュール設定につきましての詳細は、『ESMPRO/AC GUI』のヘルプ、 "「スケジュール」ダイアログボックス"をご参照ください。

- スケジュールの設定には優先順立があり、日付項目一曜日項目一通常項目という順立で優先されます。
- ・ 祭日休日は、設定した時のスケジュールの有効期限内のみ運転休止に登録します。
- ・ 設定後は、グラフィック表示やカレンダ表示にて正しくスケジュールが登録されていることをご確認ください。

スクシ ュー ル	×
スケジュール表示 加ンダ表示	
スケジュール有効期間: 2011年08月から2021年07月まで	変更(<u>C</u>)
運用スケシュール	
11年09月19日 運転休止: 款老の日 11年09月23日 運転休止: 秋分の日 11年10月10日 運転休止: (本育の日 12年01月02日 運転休止: 振り替え(元日) 12年03月20日 運転休止: 成人の日 12年03月20日 運転休止: 赤り替え(昭和の日) 12年07月16日 運転休止: 海の日 12年09月17日 運転休止: 海の日 12年09月17日 運転休止: 淡老の日 12年09月22日 運転休止: 秋分の日 12年10月08日 運転休止: (本育の日 12年10月08日 運転休止: 振り魅え(王皇誕生日)	▲ (設定(S)) 修正(R) 削除(D)
OFF->ONが1分差のスケジュールは、リブートと認識	します。
OK キャンセル	<u>^ルフ°(H)</u>

第5章 注意事項

ESMPRO/AutomaticRunningController を使用する際には、次の点にご注意ください。

5.1 セットアップ関連

 ESMPRO/ServerManager の統合ビューアから、ESMPRO/AutomaticRunningController ユーザ インターフェイスを起動する場合は、「ESMPRO/ServerManager」のインストールを先に行 う必要があります。

5.2 運用関連

- Windows サーバをご使用になる場合、コントロールパネルの「電源オプション」機能の「休止状態のサポート」はOFF(初期状態)にしてください。
 「休止状態」になった場合、ESMPRO/AutomaticRunningControllerによるサーバの自動運転は、制御不能になります。
- (2) 自動電源制御を行っている際は、サーバ本体のパワースイッチを使用して電源を切断しないでください。もしサーバ本体のパワースイッチにより電源切断を実行した場合、次回の電源自動投入は行われません。Smart-UPS をご使用の場合は、ON/テストボタンや LCD パネルからの操作により電源投入を行ってください。なお、Smart-UPS の OFF ボタンや LCD パネルからの操作により UPS を停止すると、サーバはシャットダウンが行われずにそのまま電源が切断されますので、ご注意ください。
- (3) ESMPRO/AutomaticRunningController ユーザインターフェイスで行う操作は、 Administrator 権限のあるユーザでのみ行うことができます。
- (4) スケジュール作成でワイルドカードを使用した毎日設定を行う場合、あるいは、曜日指定 で一週間の連続運転を設定する場合には、通常指定は運転休止にすることを推奨します。
- (5) Windows Server 2008 等の「ユーザーアカウント制御」機能が含まれる OS において、「ユー ザーアカウント制御」を有効化している場合、インストール時に起動する Setupac. exe や、 ESMPRO/AutomaticRunningControllerのGUIを実行すると以下のような確認ダイアログが表 示される場合があります。「続行」ボタンを選択して起動してください。



- (6) Windows Server 2008 以降の OS でターミナル サービス監視を行う場合、「ローカルサーバのみ監視」、「ローカルサーバ/リモートサーバ(共通条件)を監視」、「ローカルサーバ/リモートサーバ(個別条件)を監視」の設定画面では、「セッション数を監視する」チェックを有効にして、1以上の値を設定していただく必要があります。 また、「ローカルサーバ/リモートサーバ(共通条件)を監視」や「ローカルサーバ/リモートサーバ(個別条件)を監視」でリモートサーバを監視する場合、「ESMPRO/ARC Service」 サービスには、ドメインサーバの Administraor アカウントを割り当てる設定を行う必要があります。
 - 1. [管理ツール]→[サービス]を起動し、「ESMPRO/ARC Service」プロパティを表示してくだ さい。「ESMPRO/ARC Serviceのプロパティ」画面が表示されます。
 - 2. "ログオン"タブを選択して表示される画面において、「アカウント」を選択し、「アカウ ント」、「パスワード」の設定を行ってください。
 - アカウント:アカウント情報にドメインサーバの"Administrator"の情報を入力してく ださい。
 - パスワード:「ログオン」アカウントのパスワード情報を入力してください

(ローカル コンピューター) E	SMPRO/ARC Service のプロ	ਲਿੰਡ ਕ
全般 ログオン 回復	依存関係	
ログオン・		
○ ローカル システム アオ	5ウント(L)	
□ テスクトップとの×	1話をサービスに許可(逆)	(100 (m)
○ アカウント(□):	NEC¥Administrator	<u>参照(B)</u>
パスワード(<u>P</u>):	••••••	••••
パスワードの 確認入力(<u>C</u>):	••••••	
ユーザー アカウントのログ	オン オブションの構成の詳細を表示	ರ್ಷಿಕ
	OK	キャンセル 適用(<u>A</u>)

- (7) 本バージョンの ESMPRO/AutomaticRunningController は、JIS2004 で新規追加された文字 に対応しておりません。そのため、インストール時のインストールパスや、GUI 操作におい て、JIS2004 の新規追加文字が含まれるパス情報は指定、入力しないでください。
- (8) AC GUI や AC Management Console からユーザーアカウント制御機能を有効にしている Windows Server 2008 などの Windows OS ヘネットワーク接続する場合、Administrator ア カウントによるネットワーク接続が必要です。
- (9) Smart-UPS 相当無停電電源装置を使用してスケジュール運転を行っている環境で、 ESMPRO/AutomaticRunningController のシャットダウン以外でシャットダウンを行った場合、ESMPRO/AutomaticRunningController のスケジュール機能は有効になりません。 また、停電によるシャットダウンが行われ、スケジュール OFF 時刻経過後に復電により起動してきた場合、スケジュール OFF 時刻は経過しているため、スケジュールによるシャットダウンは行われません。

「ESMPRO_AC ヘルプ」情報の「ご使用にあたってのご注意」および「トラブルシューティング」 もご覧ください。「ESMPRO_AC ヘルプ」はスタートメニューから起動することができます。

5.3 ESMPRO/UPSManager(PowerChute Business Edition セット)連携 関連

 ESMPRO/UPSManager (PowerChute Business Edition セット)と連携して自動運転を行う動作 環境を構築する場合は、以下のソフトウェアがインストールされている必要があります。

ソフトウェア名	インストール先
PowerChute Business Edition $ au - ec arphi_{ au} angle$ h	ローカルコンピュータ
PowerChute Business Edition コンソール	ローカルコンピュータまたはリモートコンピュータ
PowerChute Business Edition サーバ	ローカルコンピュータまたはリモートコンピュータ
PowerChute Business Edition UPSSleep.exe (PowerChute Business Edition オプション品)	ローカルコンピュータ
ESMPRO/UPSManager Ver2.0以降 サーバ	ローカルコンピュータ
SNMP サービス	ローカルコンピュータ

 (2) 停電発生時のシャットダウン開始時間は、PowerChute Business Edition 「コンソール」 または「WebUI」から設定してください。
 < LCD パネル無し Smart-UPS の場合> PowerChute Business Edition「コンソール」を起動し、「デバイスのプロパティ」画面の「サーバシャットダウン」 -> 「電源障害」 -> 「電源障害時のシャットダウン開始」で

設定してください。

<LCD パネル付き Smart-UPS の場合>

PowerChute Business Edition「WebUI」を起動し、「シャットダウの設定」画面の「電源 障害時のシャットダウン開始」で設定してください。

- (3) スケジュールの設定は、PowerChute Business Edition 「コンソール」および「WebUI」で 行わず、ESMPRO/AutomaticRunningController の GUI のみで行ってください。PowerChute Business Edition でスケジュール登録すると、連携動作が正常に動作しません。
- (4) 電源切断猶予時間とは、0S シャットダウン開始後、UPS 装置からの電源供給が停止するまでの時間についての設定項目になります。この設定値が短い場合、シャットダウン途中にUPS 装置からの電源供給が停止され、システムに重大な障害が発生する可能性があります。必ず、運用されているシステムに適した値になっているかを確認し、変更の必要がある場合は設定値を変更し、運用してください。0S のシャットダウンに必要な時間はシステム毎に異なるため、設定値は実環境のサーバを使用して 0S のシャットダウン時間を複数回計測し、その結果を十分に超える時間を設定してください。

<LCD パネル無し Smart-UPS の場合>

PowerChute Business Edition 「コンソール」を起動し、「デバイスのプロパティ」画面 を表示後、「シャットダウン」->「シャットダウンシーケンス」から「シャットダウンシー ケンスの設定」を選択した後に表示されるウィンドウの、「コマンドファイルの設定」画 面(後述)の次の画面(バーグラフが表示される画面)にて、"OS"を選択した状態での「期

間」に十分な値を設定してください。

<LCD パネル付き Smart-UPS の場合>

PowerChute Business Edition 「WebUI」を起動し、「シャットダウの設定」画面の「OS が シャットダウンする時間」に十分な値を設定してください。

(5) ESMPRO/AutomaticRunningController において、「電源異常切断時に登録ジョブを起動する」を有効にする場合には、PowerChute Business Edition 「コンソール」または「WebUI」からの設定が必要となります。

<LCD パネル無し Smart-UPS の場合>

PowerChute Business Edition 「コンソール」を起動し、「デバイスのプロパティ」画面 から「シャットダウン」->「シャットダウンシーケンス」から「シャットダウンシーケン スの設定」を選択した後に表示されるウィンドウの、「コマンドファイルの設定」画面で default.cmd を指定してください。そして次の画面(バーグラフが表示される画面)にて、 "コマンドファイル"を選択した状態で「期間」の値を、「電源異常切断時に実行する登 録ジョブ」が完了するまでに必要な時間に設定してください。

<LCD パネル付き Smart-UPS の場合>

PowerChute Business Edition 「WebUI」を起動し、「シャットダウの設定」画面で「コマ ンドファイルの選択」に default.cmd を指定し、「コマンドファイルを実行するのに必要 な時間」の値に、「電源異常切断時に実行する登録ジョブ」が完了するまでに必要な時間 を設定してください。

(6) ESMPRO/AutomaticRunningController において、「停電時のクラスタシャットダウン」を 有効にする場合には、PowerChute Business Edition 「コンソール」または「WebUI」から の設定が必要となります。

<LCD パネル無し Smart-UPS の場合>

PowerChute Business Edition 「コンソール」を起動し、「デバイスのプロパティ」画面 から「シャットダウン」->「シャットダウンシーケンス」から「シャットダウンシーケン スの設定」を選択した後に表示されるウィンドウの、「コマンドファイルの設定」画面で default.cmd を指定してください。そして次の画面(バーグラフが表示される画面)にて、 "コマンドファイル"を選択した状態で「期間」の値を、「停電時のクラスタシャットダ ウン」のタイムアウト時間以上の値に設定してください。

<LCD パネル付き Smart-UPS の場合>

PowerChute Business Edition 「WebUI」を起動し、「シャットダウの設定」画面で「コマ ンドファイルの選択」に default.cmd を指定し、「コマンドファイルを実行するのに必要 な時間」に、「停電時のクラスタシャットダウン」のタイムアウト時間以上の値に設定し てください。

- PowerChute Business Edition の再インストールを行った場合は、PowerChute Business Edition の「コンソール」において、上記内容を再設定する必要があります。
- (8) PowerChute Business Edition の使用方法につきましては、PowerChute Business Edition に付属のマニュアルを参照してください。

- (9) Windows Vista Business x64 環境にて「ESMPRO/AC 環境ウィザード」による ESMPRO/UPSManager (PowerChute Business Edition)連携設定を行う場合、「環境設定ウィ ザード STEP2」の画面において SNMP サービスとの通信が失敗する場合があります。 この現象が発生した場合は、環境ウィザードを終了して下記対処を実施後に再度環境ウィ ザードによる連携設定を行ってください。 (対処)
 - 1. エクスプローラにて ESMPRO/AC インストールフォルダ配下の"DATA"フォルダに移動。
 - 2. 『AC_PCBE. cfg』ファイルをメモ帳等のテキストエディタで開く。
 - 3. [SNMP]セクションの host の値を自サーバの IP アドレスに変更し、上書き保存。 【例】

[SNMP] host=172.16.1.17

5.4 通信ポート番号関連

使用するポート番号は、以下の通りです。

[ESMPRO/AutomaticRunningController]

(クラスタシステムの時に使用)

[クラスタサーバ] [クラスタサーバ]

不定/udp--->4000/udp

4000/udp <---不定/udp

(Client 監視機能を実行時、使用)

[サーバ] [クライアント]

3999/udp <---不定/udp

3999/udp --->3998/udp

[ESMPRO/AC Enterprise]

(AC Management Console 機能を使用した SNMP カードを使用するマルチサーバ構成)

[制御端末(マスタ)] [制御端末(マスタの控え)]

不定/udp--->6000/udp

6000/udp <---不定/udp

[制御端末] [連動端末]

不定/udp--->6000/udp

6000/udp <---不定/udp

[制御端末] [UPS]

不定/udp<-->161/snmp

[AC Management Console] [制御/連動端末]

不定/udp--->6000/udp

不定/udp<---不定/udp

(iStorage S/D/M シリーズ連携機能使用時)

[制御端末] [iStorage S/D/M シリーズ]

不定/tcp <--> 6001/tcp

(VMware ESXi サーバ監視時) [制御端末] [VMware ESXi サーバ] ICMP <--> ICMP 不定/tcp<--> 443/tcp

[ESMPRO/AC Advance]、[ESMPRO/AC Blade 管理オプション]
[制御端末 (マスタ)] [制御端末 (マスタの控え)]
不定/udp--->4005/udp
[制御端末] [連動端末]
不定/udp--->4005/udp
[AC Management Console/AC GUI] [制御/連動端末]
不定/udp--->4005/udp

5.5 共有フォルダ関連

ESMPRO/AutomaticRunningController では、ネットワーク機能を提供するために、以下の共有 フォルダを設定しています。

フォルダ名	共有名	デフォルトのアクセス権
(インストールフォルダ)¥DATA	ARCDATA	Administrators フルコントロール

「ARCDATA」の共有フォルダは、GUIをサーバ以外からリモートで行う場合に使用します。サーバ上でのみGUIを使用する場合には、この共有を解除しても問題ありません。

フォルダ名	共有名	デフォルトのアクセス権
(インストールフォルダ)¥CMSETUP	CMSETUP	Administrators フルコントロール

「CMSETUP」の共有フォルダは、LAN 投入・切断監視に Client 監視機能を使用する場合に、クライアントをセットアップするために使用します。Client 監視機能を使用しない場合には、この共有を解除しても問題ありません。

サーバの OS が Windows XP の場合、セキュリティの設定により他サーバからのネットワーク接 続が不可となってしまうことがあります。その際には、[フォルダオプション]の[表示]に ある[簡易ファイルの共有を使用する(推奨)]チェックを無効にして、簡易ファイルの共有 インターフェイスを無効にする必要があります。これは Windows XP の制限事項になります。

5.6 AC-LINK 関連

UPS を使って自動運転を行う場合は、サーバ装置の BIOS の設定で、AC-LINK を「Power ON」に しておいてください。BIOS の設定変更の方法については、サーバにより異なりますので、サー バ本体添付のマニュアルを参照してください。

なお、AC-LINK は、サーバ機種により「After Power Failure」と記載されている場合があり ます。

第6章 障害発生時には

障害発生時には、お手数ですが、以下の情報を採取してください。

- ・ESMPRO/AutomaticRunningController ログ
- ・ESMPRO/AC マルチサーバオプションログ (Smart-UPS LAN 制御の場合のみ)
- ・イベントログ
- ・ESMPRO/UPSManager のログ (Smart-UPS シリアル制御の場合のみ)
- PowerChute Business Edition のログ (ESMPRO/UPSManager(PowerChute Business Edition セット)による自動運転を行なっている場合)
- ・バージョン情報
- ・SNMP カードからの情報採取 (Smart-UPS LAN 制御の場合のみ)
- ・Collect ログおよび IPMI ログ

6. 1 ESMPRO/AutomaticRunningController ログ

(1) サーバのログ採取方法

■ESMPRO/AC GUI からのログ採取方法

サービスおよび GUI の動作不良のため、ESMPRO/AC GUI からの操作でログ採取できない場合 があります。その場合は、後述の「■手動によるログ採取方法」を参照してください。

①ESMPRO/AutomaticRunningController メインメニューのサーバボタンを選択すると、以下の サーバ指定ダイアログが表示されます。

サー	い指定					X
	サール"名	FSM/P(MAINTE		_	
	9-バ名 ESM/PC MAINTE ▼ 「停止中の指定サーバを、リモート起動する OK キャンセル ヘルフ°(<u>H</u>)					
	□ 停止	中の指定	サーバを、	リモー	ト起動する	
	OK		种心机		^ルプ(<u>H</u>)	

②サーバ指定ダイアログのサーバ名のところに、

ESM/PC MAINTE

と入力し、OK ボタンを選択すると、以下のメンテナンスダイアログが表示されます。

メンテナ	לא <u>ל</u>	X
	ログ情報採取	Dグセーブ開始(<u>S</u>)
	OK	

③「ログセーブ開始(S)」ボタンを選択してください。ログ採取が開始されます。ログ採取が 終了すると、以下のダイアログが表示されます。

ログ採取正常終了メッセージ



<u>ログ採取異常終了メッセージ</u>

ESMPRO/AutomaticRunningController	×
C¥Program Files¥AUTORC¥DATA¥LOG ディレクトリにログ情報ファイルが存 在しています。すべてのログ情報ファイルを待避してから再度実行して下さい。	

上記のエラーメッセージが表示された場合、既にログファイルが存在することが考えられます。 ESMPRO/AutomaticRunningController インストールディレクトリ下の DATA¥LOG 下にログファイルが存在する場合は、ファイルを退産するか削除して、再度①からの操作をやり直してください。

④採取されたログのファイルは、ESMPRO/AutomaticRunningController インストールディレク トリ下の DATA¥LOG 下に置かれます。

エクスプローラ等により、DATA¥LOG ディレクトリごと USB メモリ 等の外部記憶媒体に採取 してください。DATA¥LOG 下に採取されるファイルは、採取するタイミング/状態によって 異なります。

・スケジュールの有効期間が長い場合、登録するスケジュール項目が多い場合などは、ログファイルのサイズが大きくなります。

■手動によるログ採取方法

①エクスプローラ等を使用してください。

②ESMPRO/AutomaticRunningController イレストールディレクトリ¥data ディレクトリ下のすべてのファ イルを採取してください。

(2) Client 監視を行っているクライアントのログ採取方法

Client 監視で不具合が発生した場合は、(1)のログの他に Client 監視機能をセットアップした Client 側のコンピュータから Client 監視機能インストールディレクトリ(規定値: CMODULE)下の下記情報ファイルを USB メモリ 等の外部記憶媒体に採取してください。

ACNETSVR.LOG ACNETSV.APC CLIENTD.APC ONJOBO.APC : ONJOB7.APC

6.2 ESMPRO/AC マルチサーバオプションログ

システムの構成が、マルチサーバ構成の場合、次のような方法でログを採取してください。



(1) 連動端末 (Windows サーバ)のログ採取方法

■ESMPRO/AC GUI からのログ採取方法

サービスおよび GUI の動作不良のため、ESMPRO/AC GUI からの操作でログ採取できない場合 があります。その場合は、後述の「■手動によるログ採取方法」を参照してください。

制御端末または管理 GUI がインストールされているコンピュータの ESMPRO/AC GUI を使用し、 下記手順で、連動端末A、B、Cのそれぞれのログを採取してください。

例えば、制御端末Aから連動端末Aのログを採取する場合

①制御端末の ESMPRO/AC メインメニューのサーバボタンを選択すると、以下のサーバ指定ダイ アログが表示されます。

サー	い指定					X
	サーハ・名				•	
	□ 停止	申の指定	サーバを、	リモー	ト起動する	
	OK		キャンセル		^ルプ(<u>H</u>)	

- ②サーバ指定ダイアログのサーバ名のところに、連動端末Aのサーバ名を入力し、「OK」ボタンを選択して、連動端末Aに接続します。
 - 例えば、連動端末のサーバ名が、120RF-1の場合、上記サーバ指定で 120RF-1

と入力します。接続しましたら下記のように表示されます。

ESMPRO/AutomaticRunningController		連端末のサーノ名
設定(C) ^ルプ(H)		
ザーバ(S) 120BF-1 自動運転の状態 = 気行中 実行中 自動運転の状態 : マルチサーバオプション(ソモート制御) サーとえの状態 : 正常運転(Version 5.00_M) サム監視要因 · 切断監視時刻 · 切断監視時刻 · 改下監視時刻 · 投入監視時刻 · アデー · アデー · ア · ト · ア · ア · ア · ア	→ ₩S	
ごろうの <	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	

③もう一度、サーバボタンを選択し、サーバ指定ダイアログを表示させます。

サーノ	A`指定	×
	サール 名 ESM/PC MAINTE 🔽	
	□ 停止中の指定サーバを、リモート起動する	
	OK キャンセル ヘルフ°(<u>H</u>)	

④サーバ指定ダイアログのサーバ名のところに、

ESM/PC MAINTE

と入力し、「OK」ボタンを選択すると、以下のメンテナンスダイアログが表示されます。

メンラ	דילד 		×
	ログ情報採取	ロク * セーフ * 開始 (<u>S</u>)	
	OK	キャンセル	

⑤「ログセーブ開始」ボタンを選択してください。ログ採取が開始されます。ログ採取が終了 すると、以下のダイアログが表示されます。

ログ採取正常終了メッセージ

ログ採取正常終了のメッセージです。⑥の作業を実行してください。



ログ採取異常終了メッセージ

ESMPRO/	[/] AutomaticRunningController	×
8	H¥LOG ディレクトリにログ情報ファイルが存在しています。すべてのログ情報ファイ ルを待避してから再度実行して下さい。	
	<u> </u>	

上記のエラーメッセージが表示された場合、既にログファイルが存在することが考えられま す。ログ採取に失敗した連動端末のESMPRO/ACインストールフォルダ¥DATA¥LOG にログファ イルが存在する場合は、ファイルを退避するか削除して、操作をやり直してください。 ⑥制御端末のエクスプローラを実行して、ログ情報を採取してください。



※LOG フォルダ下に採取されるファイルは、採取するタイミング/状態によって異なります。 スケジュールの有効期間が長い場合、登録するスケジュール項目が多い場合などは、ログ ファイルのサイズが大きくなります。

■手動によるログ採取方法

①エクスプローラ等を使用してください。

②連動端末の ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションのインストールフォルダ¥data のすべてのファイルを採取してください。

※ネットワークが不調な場合などは、連動端末のエクスプローラを使用して直接採取することもできます。

6.3 イベントログ

- ◆Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003の場合
 - ① [管理ツール] からイベントビューアを起動します。
 - ②ツリーでアプリケーションログを表示させ、【操作】を指定し、【ログファイルの名前を付 けて保存】を選択します。
 - ③ファイル名をつけて保存ダイアログが表示されたら、ファイル名エディットボックスにログ セーブファイル名を入力して「保存ボタン」を選択してください。ログがセーブされます。
 ④セーブしたファイルを USB メモリ等の外部記憶媒体に採取してください。

⑤同様にして、システム (ツリーでシステムログを指定)のイベントログも採取してください。

- ◆Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/Windows 7/Windows Vista の場合
- ① [管理ツール]からイベントビューアを起動します。
- ②[Windows ログ]のツリーでアプリケーションログを表示させ、【操作】を指定し、【イベントに名前を付けて保存】を選択します。
- ③ファイル名をつけて保存ダイアログが表示されたら、ファイル名エディットボックスにログ セーブファイル名を入力して「保存」ボタンを選択してください。ログがセーブされます。
 ④セーブしたファイルを USB メモリ等の外部記憶媒体に採取してください。

⑤同様にして、システム(ツリーでシステムログを指定)のイベントログも採取してください。

- ♦Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012/Windows 8の場合
 - ①[管理ツール]からイベントビューアを起動します。
 - ②[Windows ログ]のツリーで Application ログを表示させ、【操作】を指定し、【すべてのイ ベントに名前を付けて保存】を選択します。
 - ③ファイル名をつけて保存ダイアログが表示されたら、ファイル名エディットボックスにログ セーブファイル名を入力して「保存」ボタンを選択してください。ログがセーブされます。
 ④セーブしたファイルを USB メモリ等の外部記憶媒体に採取してください。

⑤同様にして、システム(ツリーでシステムログを指定)のイベントログも採取してください。

6.4 クラスタシステムのログ採取

クラスタシステム構成で障害が発生した場合は、クラスタを構成するすべてのサーバで障害情報 を採取してください。その場合、現用系、待機系の区別を明記しておいてください。

※CLUSTERPRO 製品と ESMPRO/AC 製品を連携して運用している場合、CLUSTERPRO のログ採取機能を 使用して、ESMPRO/AC のログを採取することができます。

6.5 ESMPRO/UPSManager のログ採取

ESMPRO/AutomaticRunningController での障害の際に、自動運転に関する障害で Smart-UPS が原因 と思われる障害が発生した場合は、ESMPRO/AutomaticRunningController で採取する情報以外に UPS 関連のログ情報も必要となりますので、あわせて採取をお願いいたします。

UPS 関連ログ情報の採取方法につきましては、ESMPRO/UPSManagerの資料を参照ください。

6.6 PowerChute Business Edition のログ採取

ESMPRO/AC での障害の際に、ESMPRO/UPSManager (PowerChute Business Edition セット)による自動 運転を行なっている場合は、ESMPRO/AC で採取する情報以外に PowerChute Business Edition のログ 情報も必要となりますので、あわせて採取をお願いいたします。

PowerChute Business Edition のログ情報の採取方法につきましては、PowerChute Business Edition の資料を参照ください。

6.7 バージョン情報

障害発生時はログ以外に、アプリケーションのバージョン情報が必要です。 ESMPRO/AutomaticRunningControllerのバージョン情報は、以下の手順で取得できます。

- (1) ESMPRO/AutomaticRunningController GUI を起動します。
- (2) メニューバーの「ヘルプ」 → 「バージョン情報」を選択すると、バージョン情報が表示 されます。



6.8 SNMP カードからの情報採取

Smart-UPS を LAN 制御している場合、UPS 毎に下記情報を採取してください。

なお、ご使用の Internet Explorer バージョンおよび Internet Explorer の設定によっては、ファ イルに保存する手順が一部異なる場合があります。手順の詳細はご使用の Internet Explorer のバー ジョンおよびヘルプ等をご確認ください。

(A)のログイン画面が表示された場合は「6.8.1 SMPカードの情報(A)」を参照してください。 (B)のログイン画面が表示された場合は「6.8.2 SMPカードの情報(B)」を参照してください。 (C)のログイン画面が表示された場合は「6.8.3 SMPカードの情報(C)」を参照してください。

()	🗿 about:blank - Microsoft Internet Explorer
(A)	ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルブ(E)
	③ 戻る ▼ ③ ▼ ▶ 2 🏠 🔎 検索 📩 お気に入り 🔮 メディア 🤣 😥・ 🌭 🖂
	アドレス型 @ http://172.16.1.231 ・ ♪ 移動
	172.16.1.231 に接続 ? 🗙
	APC Management Card
	□ パスワードを記2億する(尺)
	OK キャンセル
	4ダネーダに1012/1012/1012/1012/1012/1012/1012/1012

(B)

APC Log On - Windows Internet Explorer	×
	Google
」 ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(E) ヘルブ(H)	
APC Log On	🔄 🗄 • 🔊 - 🖶 • 🔂 • 🚳 • 🚺
User Name: Password: Password: Language: English v Lag On Reset	
パージ络素子太打き1.5	■ n=+# <\+=+

(C)

APC	Log On - W	indows In	ternet Explorer			_			_	
Θ	▼ 3 ht	p://172.16	1.162/NMC/hhhs	CN6ral67Jjc	0XyUwwg/logi	on. 💌 🔮	🕈 🗙 Google			<u> </u>
ファイル(E)	編集(<u>E</u>)	表示(⊻)	お気に入り(<u>A</u>)	ツール(I)	ヘルプ(圧)					
🚖 🎄	🝠 APC	Log On				6) - 🗟 - 🖶	• 📴 ページ(P) •	() ツール(<u>0</u>) • *
										
	Lo	gin								
							_			
							English	_		
			- L		User	Name:				
			~ ? -		Pas	sword:	I			
							Log O	n Reset		
							~ .			
							Schn	eider		
								iectric		
										7
							Number 10 (1997)	ントラネット	100%	• //.

6.8.1 SNMPカードの情報(A)

WebでSNMPカードに接続し、以下の情報を採取します。

①ステータス情報
 ②イベントログ情報

③データログ情報

④Access Control情報

SNMP カードへの接続方法

①ブラウザを起動し、SNMPカードに接続します。

下記のようにSNMPカードのIP Addressを指定するとSNMPカードのログオン画面が表示されます。 (ログを採取するSNMPカードのIP Addressが172.16.1.231の場合)

http://172.16.1.231

ユーザ名とパスワードを入力してログオンしてください。

🚰 about:blank – Microsoft Internet Explorer	
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルブ(H)	
🔾 戻る 💌 🔁 💁 📣 🔍 検索 🧙 お気に入り 🜒 メディア 🔗 🎰 😓	
アドレス(D) (個) http://172.16.1.231	💌 🄁 移動
172.16.1.291 (ご接続 2 ≤ × イン イン APC Manage ment Cond マ ユーザー名(リ): マ パスワード(P): パスワードを記憶する(R) OK キャンセル	×
(3) ページ トttp://172161221/ た即()7()ナオ	<u>マ</u>

(2) 情報の採取方法

①ステータス情報

左側のメニューで「Smart-UPSXXX」を選択し、「Status」を選択します。 下記 Status 情報が表示されますので、メニューで[ファイル]→[名前を付けて保存]を選択し、情

報をファイルに保存してください。



②イベントログ情報

左側のメニューで「Events」を選択し、「Log」を選択します。 下記 Event Log 情報が表示されますので、メニューで[ファイル]→[名前を付けて保存]を選択し、

情報をファイルに保存してください。



③データログ情報

左側のメニューで「Data」を選択し、「Log」を選択します。 下記 Data Log 情報が表示されますので、メニューで[ファイル]→[名前を付けて保存]を選択し、 情報をファイルに保存してください。

Atta Log Device Data	a								Dat
Data Log Device Data	a								Da
Data Log Device Data Date	a							~	
Date									
Date		Smart-I	IPS 1500 RM	1		_			
	Time	Vmin	Vmax	Vout	%Wout	Freq	%Cap	Vbat	Tups
J4/25/2011 -	14:18:15	104.4	105.1	105.1	16.9	60.00	100.0	27.40	33.3
04/25/2011	14:08:15	104.4	105.8	105.1	16.2	60.00	100.0	27.40	33.3
04/25/2011	13:58:15	104.4	105.1	105.1	16.9	60.00	100.0	27.40	33.3
04/25/2011	13:48:15	104.4	105.8	105.1	16.9	60.25	100.0	27.40	32.8
04/25/2011	13:38:15	103.6	105.8	105.8	19.5	60.00	100.0	27.27	32.8
04/25/2011	13:28:15	103.6	104.4	104.4	16.9	60.00	100.0	27.40	32.4
04/25/2011	13:18:15	0.0	105.1	104.4	19.5	60.00	93.0	27.40	31.0
04/25/2011	13:08:15	0.0	105.1	99.6	6.5	60.00	90.0	24.84	32.4
04/25/2011	12:58:15	103.6	105.8	95.7	16.2	60.00	100.0	27.27	33.7
04/25/2011	12:48:15	103.6	105.1	95.0	16.9	60.00	100.0	27.27	33,7
04/25/2011	12:38:15	105.1	105.8	95.7	16.2	60.00	100.0	27.27	33.7
04/25/2011	12:28:15	104.4	105.8	96.4	16.9	60.00	100.0	27.27	34.2
04/25/2011	12:18:15	104.4	105.8	95.7	16.2	60.00	100.0	27.27	34.2
04/25/2011	12:08:15	104.4	105.8	95.7	16.9	60.00	100.0	27.27	34.2
04/25/2011	11:58:15	104.4	107.2	96.4	16.2	60.00	100.0	27.27	34.2
04/25/2011	11:48:15	104.4	107.2	95.7	17.5	60.00	100.0	27.27	34.2
04/25/2011	11:38:14	105.8	107.2	0.0	3.9	60.00	100.0	27.27	34.2
04/25/2011	11:28:14	105.8	107.2	0.0	3.9	60.00	100.0	27.27	34.2
04/25/2011	11:18:14	105.8	107.2	0.0	3.9	60.00	100.0	27.13	34.2
04/25/2011	11:08:14	105.1	106.5	0.0	3.9	60.00	100.0	27.27	34.2
04/25/2011	10:58:14	105.8	106.5	0.0	3.9	60.00	100.0	27.27	34.2
04/25/2011	10:48:14	105.8	107.2	0.0	3.9	60.00	100.0	27.27	34.2
04/25/2011	10:38:14	105.8	107.2	0.0	3.9	60.00	100.0	27.27	33.7
04/25/2011	10:28:14	105.1	107.2	0.0	3.9	60.00	100.0	27.27	33.3
04/25/2011	10:18:14	104.4	107.2	0.0	3.9	60.00	100.0	27.40	33.3
04/25/2011	10:08:14	105.8	107.2	0.0	3.9	60.25	100.0	27.40	33.3
n//9E/9011	00.00.14	100 1	106 5	0.0	2.0	60.00	100.0	97.40	, 22.2
Delete Dete									
	04/25/2011 04/25/2011	D4/25/2011 13:48:15 D4/25/2011 13:38:15 D4/25/2011 13:28:15 D4/25/2011 13:28:15 D4/25/2011 13:28:15 D4/25/2011 13:28:15 D4/25/2011 12:38:15 D4/25/2011 11:38:14 D4/25/2011 11:38:14 D4/25/2011 11:38:14 D4/25/2011 11:38:14 D4/25/2011 10:38:14 D4/25/2011 10:38:14	$\begin{array}{rrrrrrrrrrrrrrrrrrrrrrrrrrrrrrrrrrrr$	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$

④Access Control情報

左側のメニューで「NetWork」を選択し、「SNMP」を選択します。

下記 Access Control 情報が表示されますので、メニューで[ファイル]→[名前を付けて保存]を選択し、情報をファイルに保存してください。

APC Network Management Car	d – Microsoft Internet Explorer		
7ァイル(止) 編集(止) 表示(型) お気			
③ 戻る ▼ ② ▼ ▲ 2 ☆ 2 №	『索 😙 お気に入り 🛃 メティア 🚱		
アドレス型 @ http://172.16.1.231/arak	fram.htm?3:4		🗾 🔁 移動
Network Management Card	WWW.apc.com		Network
IP: 172.16.1.231	SNMP		
	SNMP		
	Access:	Enabled 💌	
Events	Apply Cancel		
Data			
 Network 	Access Control		
ТСР/ІР	Community Name	NMS IP/Domain Name	Access Type
DNS STR Comun	public	172.16.1.1	Write+ 💌
FTP Server	public	0.0.0.0	Disabled 💌
	public	0.0.0.0	Disabled 💌
Email	public	0.0.0.0	Disabled 💌
Syslog Web/SSL	Apply Cancel	receivers.	
System Logout			
🕨 Help 📃 🚽			
A 1			🔹 インターネット

6.8.2 SNMP カードの情報(B)

```
WebでSNMPカードに接続し、以下の情報を採取します。
①ステータス情報
②イベントログ情報
③データログ
④access control情報
```

SNMP カードへの接続方法

①ブラウザを起動し、SNMPカードに接続します

下記のようにSNMPカードのIP addressを指定するとSNMPカードのログオン画面が表示されます。(ログを採取する SNMPカードのIP addressが172.16.1.145の場合)

http://172.16.1.145

ユーザ名とパスワードを入力してログオンしてください。

🖉 APC L	og On - Wi	ndows Inl	ternet Explorer					_ 🗆 ×
$\bigcirc \bigcirc$	👻 🙋 http	p://172.16.	1.145/logon.htm		-	(* , ×	Live Search	<mark>ب</mark> ع
ファイル(E)	編集(E)	表示(⊻)	お気に入り(<u>A</u>)	ツール(I) ヘルプ(H)				
🚖 🏟	🏉 APC L	.og On						
				User Name: Password: Control C		~ C		
ページが表示	でわました -					L. 🕑 🗸	1言釈)済みサイト	🔍 100% 🔻 🖉

(2) 情報の採取方法

①ステータス情報

「UPS」タブを選択し、「Status」 または「Detailed Status-> measurements」を選択します。 下記 Status 情報が表示されますので、メニューで[ファイル]→[名前を付けて保存]を選択し、情報をファイルに保存 してください。

APC UP5 Network Management Co	ard - Windows Internet Explorer		<u>_ </u>
😋 🕤 👻 🙋 http://172.16.1.145/up	stat.htm	💽 🛃 🔀 Live Search	P -
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気にフ	い(A) ツール(I) ヘルプ(H)		
😭 🎄 🔏 APC UPS Network Manage	ment Card		
() 172.16.1.145		Help Log Off 📑	<u> </u>
Home UPS L	Administration		
		🕗 No Alarms	
Overview Status Configuration power shutdown general self-test schedule Diagnostics Scheduling Sync Control PowerChute@ configuration clients About	Status Last Battery Transfer: Internal Temperature: Runtime Remaining: Power Input Voltage: Output Voltage: Frequency: Load Load Power: Battery Capacity: Battery Voltage: External Batteries:	Due to software command or UPS's test control 27.0°C 5 hours 24 minutes 101.5 VAC 101.5 VAC 60.0 Hz 0.0 %Watts 98.0 % 27.54 VDC 0	
Link 1 Link 2 Link 3		UPS Network Management Card	
© 1995 - 2008, American Po	wer Conversion Corp. All rights reser	ved. Updated: 04/18/2011 at 15:05	V
ページが表示されました		📄 📄 👘 🖓 信頼済みサイト 🛛 🕄	100% - //

②イベントログ情報

「Logs」タブを選択し、「Events -> log」を選択します。 Event log が表示されますので、Event log Filtering 画面の「Event time」プルダウンメニューから「All Logs」 を選択し、「Apply」を選択します。



「Launch Log in New Window」ボタンを押すと、新しい画面が立ち上がりますので、ブラウザのメニューから[ファイル]→[名前を付けて保存]を選択し、ファイルの種類で「Web アーカイブ、単一のファイル (*.mht)」形式または「Web ページ、完全 (*.htm,*.html)」形式を指定して保存してください。

🥖 APC Event Log - Windo	ows Internet Ex	plorer			<u> </u>
🕞 🕞 – 🙋 http://172	2.16.1.145/events	htm		💌 👉 🗙 Live Search	₽ •
ファイル(E) 編集(E) 表示((V) お気に入り(4	の ジール(エ) ヘルプ(出)			
新しいタブ(<u>T)</u> 新想ウンパウ(M)	Ctrl+T Ctrl+N				
₩1%C912119(回) 開((<u>0</u>)	Ctrl+O				<u> </u>
編集(<u>D</u>)	culu c	ne local network management ir	terface-to-UPS communication	n.	
上書さ1米(F)(D) 名前を付けて保存(A)	Ctri+5	ig cleared. k service started. Svstem IP is :	72.16.1.145 from manually co	onfigured settings.	_
タブを閉じる(<u>⊂</u>)	Ctrl+W	rt.	,		
ページ設定(山)		power is turned off.	terfere to UDD communication	-	
印刷(<u>P</u>) 印刷プレビュー(v)	Ctrl+P	k service started. System IP is :	172.16.1.145 from manually co	n. onfigured settings.	
		rt.			
べつ(C) インポートおよびエクスポート(D	power is turned off.		-	
プロパティ(R)		rt.	iterrace-to-UPS communication	ı.	
オフライン作業(<u>W</u>)		power is turned off.			
終了(X)		ne local network management in	terface-to-UPS communication	n. 	
08/12/2010 11:09:50 S	System: Networ System: Coldsta	k service started, System IP is : irt.	172.16.1.145 from manually co	onfigured settings.	
07/29/2010 20:44:54 U	, IPS: The output	power is turned off.			
07/29/2010 20:44:52 U	IPS: Restored t	ne local network management in	terface-to-UPS communication	n. Ar an an	
07/29/2010 20:44:31 S	System: Networ System: Coldsta	k service started. System IP is : irt.	1/2.16.1.145 from manually co	onfigured settings.	
07/13/2010 20:31:34 U	IPS: The output	power is turned off.			
06/04/2010 10:45:01 S	ystem: Coldsta	rt.			
04/15/2010 16:38:07 U 04/15/2010 16:38:05 U	IPS: The output IPS: Restored t	power is turned off. De local network management i	terface-to-UPS communication	٦.	
04/15/2010 16:37:44 S	System: Networ	k service started. System IP is :	72.16.1.145 from manually co	onfigured settings.	
04/15/2010 16:37:44 S	System: Coldsta	rt.			
04/05/2010 13:54:14 U	IPS: The output	power is turned off.	terface-to-LIPS communication	2	
04/05/2010 13:53:51 S	System: Networ	k service started. System IP is :	72.16.1.145 from manually co	nnfigured settings.	
04/05/2010 13:53:51 S	System: Coldsta	rt.			
12/14/2009 09:23:40 U	IPS: The output	power is turned off.	72 16 1 14E from manually or	opfiquend pattings	
11/30/2009 16:37:56 S	System: Coldsta	rt.	172.10.1.145 Hom manually co	inigurea settings.	
09/03/2009 20:19:42 U	IPS: The output	power is turned off.			
09/03/2009 11:27:52 U	IPS: The output	power is now turned on.	d from 172 16 1 62		
09/03/2009 11:27:34 U 09/01/2009 18:37:34 U	IPS: SIMMP was	power is turned off.	iu from 172.16.1.62.		
09/01/2009 09:31:53 U	IPS: The output	power is now turned on.			
09/01/2009 09:31:31 U	IPS: SNMP was	used to issue a turn on comman	id from 172.16.1.16.		
U0/31/2009 19:49:22 U ページが表示されました	PS: The output	power is turned off.			100% - (1)
A DURCH GOVE					· 100% * ///

③ データログ情報

「Logs」タブを選択し、「Data -> log」を選択します。 Data log が表示されますので、「Data time」プルダウンメニューから「All Logs」を選択し、「Apply」を選択します。

2	🔅 🏀 APC UPS Network I	Management Card			1							
	(172.16.1.145									н	elp Log	off [
	Home UPS Log	s Administra	ntion									
											🍼 No /	larms
	Fuents											
	events	Data Log		_								
	reverse lookup	Data Time:	• Last	All Lo	gs 💌							
	Data		O From	01701	72000	00:00	to 04/2	0/2011	09:23			
	log						0 - 7 -					
	interval	Apply	Clear Data	Log	I	Launch I	Log in Nev	v Window	N			
	rotation			Smart	-11DS 11	500						~ 1
	Syslog	Date	Time	Vmin	Vmax	Vout	%Wout	Frea	%Cap	Vbat	TupsC	
	servers	04/20/2011	09:16:36	100.8	101.5	100.8	0.0	60.00	100.0	27.54	27.4	
	settings	04/20/2011	09:06:36	100.0	101.5	100.8	0.0	60.00	100.0	27.54	27.4	
	test	04/20/2011	08:56:36	99.3	100.8	100.0	0.0	60.25	100.0	27.54	27.4	
		04/20/2011	08:46:36	100.8	101.5	100.8	0.0	60.25	100.0	27.54	27.0	
		04/20/2011	08:36:36	100.8	101.5	100.8	0.0	60.00	100.0	27.54	27.0	
		04/20/2011	08:26:36	100.8	102.2	101.5	0.0	60.00	100.0	27.54	26.5	
		04/20/2011	08:16:36	100.8	101.5	100.8	0.0	60.00	100.0	27.67	25.6	
		04/20/2011	08:06:36	100.8	102.2	101.5	0.0	60.00	100.0	27.67	25.6	
		04/20/2011	07:56:36	100.8	102.2	101.5	0.0	60.25	100.0	27.67	26.1	
		04/20/2011	07:46:36	100.8	102.2	100.8	0.0	60.00	100.0	27.67	26.1	
		04/20/2011	07:36:36	100.8	101.5	100.8	0.0	60.00	100.0	27.67	26.1	
		04/20/2011	07:16:36	100.0	101.5	101.5	0.0	60.25	100.0	27.67	26.1	-1
		•										
		•										

「Launch Log in New Window」ボタンを押すと、新しい画面が立ち上がりますので、ブラウザのメニューから[ファイル]→[名前を付けて保存]を選択し、ファイルの種類で「Web アーカイブ、単一のファイル (*.mht)」形式または「Web ページ、完全 (*.htm,*.html)」形式を指定して保存してください。

🜈 APC Data Log - '	Windows Internet I	Explorer							_		
🔄 🕞 – 🙋 htt	p://172.16.1.145/dat	a.htm				• + ×	Live Search			P -	
ファイル(E) 編集(E)	表示(⊻) お気に入	り(<u>A</u>) ツー	-JU(I) AJUJ	î(<u>Н</u>)							
新しいタブ(<u>T</u>)	Ctrl+T										
新規ウィンドウ (N)	Ctrl+N	hart I	IDE 1500								
庸\(<u>U</u>) 編集(∩)	Cm+0	nin	Vmax	Vout	%Wout	Freq	%Cap	Vhat	TunsC		
上書き保存(5)	Ctrl+S	00.8	101.5	100.8	0.0	60.00	100.0	27.54	27.4		
名前を付けて保存(A	s)	00.0	101.5	100.8	0.0	60.00	100.0	27.54	27.4		
タブを閉じる(<u>C</u>)	Ctrl+W	9.3	100.8	100.0	0.0	60.25	100.0	27.54	27.4		
		00.8	101.5	100.8	0.0	60.25	100.0	27,54	27.0		
ハーン設定(<u>U</u>) FD局(p)	Chrl±P	00.8	101.5	100.8	0.0	60.00	100.0	27.54	27.0		
白尾げしどってい	V)	00.8	102.2	101.5	0.0	60.00	100.0	27.54	26.5		
		00.8	101.5	100.8	0.0	60.00	100.0	27.67	25.6		
送信(<u>E</u>)		00.8	102.2	101.5	0.0	60.00	100.0	27.67	25.6		
インボートおよびエクス	<ポート(I)	00.8	102.2	101.5	0.0	60.25	100.0	27.67	26.1		
プロパティ(<u>R</u>)		00.8	102.2	100.8	0.0	60.00	100.0	27.67	26.1		
オフライン作業(W)		00.8	101.5	100.8	0.0	60.00	100.0	27.67	26.1		
終了(<u>X</u>)		00.0	101.5	101.5	0.0	60.25	100.0	27.67	26.1		
04/20/2011	07:16:36	99.3	100.8	100.0	0.0	60.00	100.0	27.67	26.1		
04/20/2011	07:06:36	98.6	100.8	100.0	0.0	60.00	100.0	27.67	26.1		
04/20/2011	06:56:36	99.3	100.0	99.3	0.0	60.00	100.0	27.54	26.5		
04/20/2011	06:46:36	99.3	100.8	99.3	0.0	60.00	100.0	27.54	27.0		
04/20/2011	06:36:36	100.0	100.8	100.8	0.0	60.00	100.0	27.54	27.0		
04/20/2011	06:26:36	100.0	100.8	100.0	0.0	60.00	100.0	27.54	27.0		
04/20/2011	06:16:36	100.0	100.8	100.8	0.0	60.00	100.0	27.54	27.0		
04/20/2011	06:06:36	100.0	100.8	100.8	0.0	60.00	100.0	27.54	27.4		
04/20/2011	05:56:36	100.0	100.8	100.8	0.0	60.25	100.0	27.54	27.4		
04/20/2011	05:46:36	100.0	100.8	100.8	0.0	60.00	100.0	27.54	27.4		
04/20/2011	05:36:36	100.0	100.8	100.8	0.0	60.00	100.0	27.54	27.0		
04/20/2011	05:26:36	100.0	100.8	100.8	0.0	60.00	100.0	27.54	26.5		
04/20/2011	05:16:36	100.0	100.8	100.8	0.0	60.00	100.0	27.67	25.6		
04/20/2011	05:06:36	100.8	100.8	100.8	0.0	60.25	100.0	27.67	26.1		
04/20/2011	04:56:36	100.0	100.8	100.8	0.0	60.00	100.0	27.67	26.1		
04/20/2011	04:46:36	100.0	100.8	100.8	0.0	60.00	100.0	27.67	26.1		
04/20/2011	04:36:36	99.3	100.8	100.0	0.0	60.00	100.0	27.67	26.1		
04/20/2011	04:26:36	99.3	100.8	100.0	0.0	60.00	100.0	27.67	26.1	•	
ファイルとしてこのドキュメ	ントを保存します。								🔍 100%	- /	

※②Logs -> Events -> log、③Logs -> Data -> logともに、以下の方法で採取してください。 (保存方法その1)



Web アーカイブ、単一のファイル(*.mht)」形式で保存する場合は、保存されるファイルが*.mhtファイルのみになり ますので、通常はこちらを推奨致します。ただし、複数のUPSに関する情報を採取される場合は、ファイル名の頭に識別 情報を付加するなどして、デフォルトのファイル名を変更して保存してください。

(保存方法その2)



「Webページ、完全(*.htm,*.html)」形式で保存する場合は、htmファイルとEvent Log files_という名前のフォルダが 作成されますので、その両方を送付してください。こちらについても、複数のUPSについて採取される場合は、ファイル名 の頭に識別情報を付加するなどして、デフォルトのファイル名を変更して保存してください。

④access control情報

「Administration」タブを選択し、「Network」→「access control」を選択します。

下記Access Control 情報が表示されますので、メニューで[ファイル]→[名前を付けて保存]を選択し、情報をファ イルに保存してください。



6.8.3 SNMP カードの情報 (C)

WebでSNMPカードに接続し、以下の情報を採取します。
①ステータス情報
②イベントログ情報
③データログ
④access control情報

SNMP カードへの接続方法

①ブラウザを起動し、SNMPカードに接続します

下記のようにSNMPカードのIP addressを指定するとSNMPカードのログオン画面が表示されます。(ログを採取する SNMPカードのIP addressが172.16.1.162の場合)

http://172.16.1.162

ユーザ名とパスワードを入力してログオンしてください。



(2) 情報の採取方法

ステータス情報

「Status」メニューから「UPS」を選択します。

下記 Status 情報が表示されますので、メニューで[ファイル]→[名前を付けて保存]を選択し、情報をファイルに保存 してください。



②イベントログ情報

「Logs」メニューを選択し、 Events」→「Log」を選択します。 Event Logが表示されますので、Event Log Filtering 画面の Event time」プルダウンメニューから「All Logs」 を選択し、「Apply」を選択します。



「Launch Log in New Window」ボタンを押すと、新しい画面が立ち上がりますので、ブラウザのメニューから[ファイル]→[名前を付けて保存]を選択し、ファイルの種類で「Web アーカイブ、単一のファイル (*.mht)」形式または「Web ページ、完全 (*.htm,*.html)」形式を指定して保存してください。

	http://172.16	.1.162/MMC/8/19	nOW+vN6iviHGknB1a/events.htm	T to Coople
	- ncp.//1/2.10	.1.102/14/10/005		
ファイル(E) 編集	:(E) 表示(⊻)	お気に入り(<u>A</u>)	-μ(D	
新しいタフ(<u>T</u>) 新知ウインドウィ	N)	Ctrl+T Ctrl+N		🟠 + 🖾 - 🖶 + 📴 ページ(P) + 🍥 ツール(O) +
開(0)	<u>.</u>	Ctrl+O	Event	
編集(D)				_
上書き保存(5)	7=(1)	Ctrl+5	and the second	
 名前を付け(1) 友づを閉じる(で) 	:1∓(<u>A</u>)	Ctrl+W		
			UPS: passed via internal operation a self-test.	
ベーン設定(U)。 印刷(p)		Chrl+P	UPS: Started a self-test.	
印刷プレビュー(Ø	Carri	UPS: The power for switched outlet group 3, Outlet Group 3, is now turned on.	
i¥(≘(E)			UPS: The power for switched outlet group 2, Outlet Group 2, is now turned on.	
- インポートおよび	エクスポート(I)		UPS: The power for switched outlet group 1, Outlet Group 1, is now turned on.	
ゴロパティ(P)			UPS: The output power is now turned on.	
オフライン作業(N)		UPS: Switched outlet group 3, Outlet Group 3, has been commanded to turn or	n, sequenced.
終了(<u>X</u>)	_		UPS: Switched outlet group 2, Outlet Group 2, has been commanded to turn or	n, sequenced.
03/13/2013	09:16:35	Device	UPS: Switched outlet group 1, Outlet Group 1, has been commanded to turn or	n, sequenced.
03/13/2013	09:15:53	apc		
03/13/2013	09:10:47	apc		
03/13/2013	09:03:42	Device	UPS: The output power is turned off.	
03/13/2013		Device	UPS: The power for switched outlet group 3, Outlet Group 3, is now turned off.	
03/13/2013		Device	UPS: The power for switched outlet group 2, Outlet Group 2, is now turned off.	
03/13/2013	09:02:31	Device	UPS: The power for switched outlet group 1, Outlet Group 1, is now turned off.	
03/13/2013	09:00:31	Device	UPS: Switched outlet group 1, Outlet Group 1, has been commanded to turn of	f, sequenced.
03/13/2013	07:33:53	Device	UPS: The power for switched outlet group 1, Outlet Group 1, is now turned on.	
03/13/2013	07:32:53	Device	UPS: Switched outlet group 1, Outlet Group 1, has been commanded to turn or	n, sequenced.
03/13/2013	07:31:48	Device	UPS: passed via internal operation a self-test.	
03/13/2013	07:31:41	Device	UPS: Started a self-test.	
03/13/2013	07:31:25	Device	UPS: The power for switched outlet group 3, Outlet Group 3, is now turned on.	
03/13/2013	07:31:24	Device	UPS: The power for switched outlet group 2, Outlet Group 2, is now turned on.	
03/13/2013	07:30:25	Device	UPS: The output power is now turned on.	
03/13/2013	07:30:25	Device	UPS: Switched outlet group 3, Outlet Group 3, has been commanded to turn or	n, sequenced.
03/13/2013	07:30:24	Device	UPS: Switched outlet group 2, Outlet Group 2, has been commanded to turn or	n, sequenced.
03/13/2013	07:03:00	Device	UPS: The output power is turned off.	
03/13/2013	07:02:57	Device	UPS: The power for switched outlet group 3, Outlet Group 3, is now turned off.	
03/13/2013	07:02:56	Device	UPS: The power for switched outlet group 2, Outlet Group 2, is now turned off.	
03/13/2013	07:02:30	Device	UPS: The power for switched outlet group 1, Outlet Group 1, is now turned off.	
03/13/2013	07:00:30	Device	UPS: Switched outlet group 1, Outlet Group 1, has been commanded to turn of	f, sequenced.
03/13/2013	05:33:55	Device	UPS: The power for switched outlet group 1, Outlet Group 1, is now turned on.	
03/13/2013	05:32:55	Device	UPS: Switched outlet group 1, Outlet Group 1, has been commanded to turn or	n, sequenced.
00/40/0040	05-04-40	Device		

③データログ情報

「Logs」メニューを選択し、「Data」→「Log」を選択します。 Data Log が表示されますので、「Data time」プルダウンメニューから「All Logs」を選択し、「Apply」を選択します。

											🚫 No /	Alarms
	ic Smart	UPS/Matrix	lanageme Application	nt Card 2						apc English	Log Off He	lp 🛏
Home	Status	C	ontrol	Config	guration		Tests	Log	js	About		
Data Log Filte	ring											
Data Time:	c	Last	All Logs 💌									
	0	From	01/01/2000	00:00	to 03/13/2	013 10:	14					
Analy	Data Las	Laurah	l a a in Marris	Affer el en un								
Apply Clea	r Data Log	Launch	Log in New (Window								
Data Log												
Data Log		Smart UD	X 3000									
Data Log	Time	Smart-UPS Vmin	S X 3000 Vmax	Vout	lout	%Wout	%out	FrgOut	%Cap	Vbat	Tups	
Data Log Date 03/13/2013	Time 10:13:46	Smart-UPS Vmin 99.28	X 3000 Vmax 100.37	Vout 100.01	lout 6.18	%Wout 25.32	%out 25.79	FrqOut 60.00	%Cap 100.00	Vbat 135.84	Tups 27.71	
Data Log Date 03/13/2013 03/13/2013	Time 10:13:46 10:03:46	Smart-UP 99.28 99.75	5 X 3000 Vmax 100.37 101.82	Vout 100.01 100.07	lout 6.18 6.15	%Wout 25.32 25.28	%out 25.79 25.75	FrqOut 60.00 60.00	%Cap 100.00 100.00	Vbat 135.84 135.81	Tups 27.71 27.78	
Data Log Date 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013	Time 10:13:46 10:03:46 09:53:46	Smart-UP 9 Vmin 99.28 99.75 99.64	5 X 3000 Vmax 100.37 101.82 101.00	Vout 100.01 100.07 100.90	lout 6.18 6.15 6.12	%Wout 25.32 25.28 25.27	%out 25.79 25.75 25.77	FrqOut 60.00 60.00 60.00	%Cap 100.00 100.00 100.00	Vbat 135.84 135.81 135.81	Tups 27.71 27.78 27.85	
Data Log Date 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013	Time 10:13:46 10:03:46 09:53:46 09:43:46	Smart-UP 9 Vmin 99.28 99.75 99.64 99.31	5 X 3000 Vmax 100.37 101.82 101.00 100.60	Vout 100.01 100.07 100.90 100.17	lout 6.18 6.15 6.12 6.15	%Wout 25.32 25.28 25.27 25.23	%out 25.79 25.75 25.77 25.71	FrqOut 60.00 60.00 60.00 60.00	%Cap 100.00 100.00 100.00 100.00	Vbat 135.84 135.81 135.81 135.81	Tups 27.71 27.78 27.85 27.82	
Data Log Date 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013	Time 10:13:46 10:03:46 09:53:46 09:43:46 09:33:45	Smart-UP 9 Vmin 99.28 99.75 99.64 99.31 97.82	5 X 3000 Vmax 100.37 101.82 101.00 100.60 100.28	Vout 100.01 100.07 100.90 100.17 99.92	lout 6.18 6.15 6.12 6.15 6.15 6.15	%Wout 25.32 25.28 25.27 25.23 25.23 25.26	%out 25.79 25.75 25.77 25.71 25.73	FrqOut 60.00 60.00 60.00 60.00 60.00	%Cap 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00	Vbat 135.84 135.81 135.81 135.81 135.81	Tups 27.71 27.78 27.85 27.82 27.82	
Data Log Date 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013	Time 10:13:46 10:03:46 09:53:46 09:43:46 09:33:45 09:23:45	Smart-UPS Vmin 99.28 99.75 99.64 99.31 97.82 96.20	5 X 3000 Vmax 100.37 101.82 101.00 100.60 100.28 102.31	Vout 100.01 100.07 100.90 100.17 99.92 98.85	lout 6.18 6.15 6.12 6.15 6.15 6.15 6.46	%Wout 25.32 25.28 25.27 25.23 25.26 26.22	%out 25.79 25.75 25.77 25.71 25.73 26.67	FrqOut 60.00 60.00 60.00 60.00 60.00 60.00 60.00	%Cap 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 99.35	Vbat 135.84 135.81 135.81 135.81 135.81 135.81	Tups 27.71 27.78 27.85 27.82 27.82 27.82 27.75	
Data Log Date 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013	Time 10:13:46 10:03:46 09:53:46 09:43:46 09:33:45 09:23:45 09:13:45	Smart-UPS Vmin 99.28 99.75 99.64 99.31 97.82 96.20 101.53	5 X 3000 Vmax 100.37 101.82 101.00 100.60 100.28 102.31 103.32	Vout 100.01 100.07 100.90 100.17 99.92 98.85 0.00	lout 6.18 6.15 6.12 6.15 6.15 6.15 6.46 0.00	%Wout 25.32 25.28 25.27 25.23 25.26 26.22 0.00	%out 25.79 25.75 25.77 25.71 25.73 26.67 0.00	FrqOut 60.00 60.00 60.00 60.00 60.00 60.00 60.00	%Cap 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 99.35 100.00	Vbat 135.84 135.81 135.81 135.81 135.81 135.84 135.90	Tups 27.71 27.78 27.85 27.82 27.82 27.82 27.75 27.48	
Date 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013	Time 10:13:46 10:03:46 09:53:46 09:33:45 09:23:45 09:23:45 09:13:45 09:03:45	Smart-UPS Vmin 99.28 99.75 99.64 99.31 97.82 96.20 101.53 99.31	5 X 3000 Vmax 100.37 101.82 101.00 100.60 100.28 102.31 103.32 102.81	Vout 100.01 100.07 100.90 100.17 99.92 98.85 0.00 0.00	lout 6.18 6.15 6.12 6.15 6.15 6.46 0.00 0.00	%Wout 25.32 25.28 25.27 25.23 25.26 26.22 0.00 0.00	%out 25.79 25.75 25.77 25.71 25.73 26.67 0.00 0.00	FrqOut 60.00 60.00 60.00 60.00 60.00 60.00 60.00 0.00	%Cap 100.00 100.00 100.00 100.00 99.35 100.00 100.00	Vbat 135.84 135.81 135.81 135.81 135.81 135.84 135.84 135.90 135.84	Tups 27.71 27.78 27.85 27.82 27.82 27.82 27.75 27.48 27.42	
Date 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013	Time 10:13:46 10:03:46 09:53:46 09:33:45 09:33:45 09:13:45 09:03:45	Smart-UPS Vmin 99.28 99.75 99.64 99.31 97.82 96.20 101.53 99.31 99.65	5 X 3000 Vmax 100.37 101.82 101.00 100.60 100.28 102.31 103.32 102.81 101.07	Vout 100.01 100.07 100.90 100.17 99.92 98.85 0.00 0.00 100.32	lout 6.18 6.15 6.12 6.15 6.15 6.46 0.00 0.00 0.00 6.12	%Wout 25.32 25.28 25.27 25.23 25.26 26.22 0.00 0.00 0.00 25.23	%out 25.79 25.75 25.77 25.71 25.73 26.67 0.00 0.00 0.00 25.72	FrqOut 60.00 60.00 60.00 60.00 60.00 60.00 0.00 0.00 0.00 60.00	%Cap 100.00 100.00 100.00 100.00 99.35 100.00 100.00 100.00	Vbat 135.84 135.81 135.81 135.81 135.81 135.84 135.90 135.84 135.90	Tups 27.71 27.78 27.85 27.82 27.82 27.82 27.75 27.48 27.48 27.42 27.39	
Date 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013	Time 10:13:46 10:03:46 09:53:46 09:33:45 09:33:45 09:23:45 09:03:45 09:03:45 09:03:45	Smart-UP 5 Vmin 99.28 99.75 99.64 99.31 97.82 96.20 101.53 99.31 99.31 99.65 100.03	5 X 3000 Vmax 100.37 101.82 101.00 100.60 100.23 102.31 103.32 102.81 101.07 101.21	Vout 100.01 100.07 100.90 100.17 99.92 98.85 0.00 0.00 100.32 100.32	lout 6.18 6.15 6.12 6.15 6.46 0.00 0.00 6.12 6.15	*Wout 25.32 25.28 25.27 25.23 25.26 26.22 0.00 0.00 0.00 25.23 25.27	%out 25.79 25.75 25.77 25.71 25.73 26.67 0.00 0.00 0.00 25.72 25.76	FrqOut 60.00 60.00 60.00 60.00 60.00 60.00 0.00 0.00 60.00 60.00	%cap 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00	Vbat 135.84 135.81 135.81 135.81 135.81 135.84 135.90 135.84 135.90 135.96	Tups 27.71 27.78 27.85 27.82 27.82 27.75 27.48 27.42 27.39 27.22	
Date 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013	Time 10:13:46 10:03:46 09:53:46 09:33:45 09:23:45 09:23:45 09:03:45 09:03:45 08:53:45	Smart-UPS Vmin 99.28 99.75 99.64 99.31 97.82 96.20 101.53 99.31 99.31 99.31 99.31 99.65 100.03 99.10	5 X 3000 Vmax 100.37 101.82 101.00 100.60 100.28 102.31 103.32 102.81 103.32 102.01 101.07	Vout 100.01 100.07 100.90 100.17 99.92 98.85 0.00 0.00 100.32 100.32 100.85	lout 6.18 6.15 6.12 6.15 6.46 0.00 0.00 0.00 6.12 6.15 6.09	%Wout 25.32 25.28 25.27 25.23 25.26 26.22 0.00 0.00 0.00 25.23 25.23 25.27 25.14	%out 25.79 25.75 25.77 25.71 25.73 26.67 0.00 0.00 0.00 25.72 25.76 25.64	FrqOut 60.00 60.00 60.00 60.00 60.00 60.00 0.00 60.00 60.00 60.00 60.00	%Cap 100.00 100.00 100.00 100.00 99.35 100.00 100.00 100.00 100.00	Vbat 135.84 135.81 135.81 135.81 135.81 135.84 135.90 135.94 135.90 135.96	Tups 27.71 27.78 27.85 27.82 27.82 27.48 27.48 27.48 27.48 27.48 27.27 27.39 27.22 27.21	
Date 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013	Time 10:13:46 10:03:46 09:53:46 09:33:45 09:33:45 09:23:45 09:13:45 09:13:45 08:53:45 08:53:45 08:43:45 08:23:45	Smart-UPS Vmin 99.28 99.75 99.64 99.31 97.82 96.20 101.53 99.31 99.65 100.03 99.10 99.57	5 X 3000 Vmax 100.37 101.82 101.00 100.28 102.31 103.32 102.81 101.01 101.21 101.07 100.92	Vout 100.01 100.07 100.90 100.17 99.92 98.85 0.00 0.00 100.32 100.32 100.85 99.75	lout 6.18 6.15 6.15 6.15 6.46 0.00 0.00 6.12 6.15 6.09 6.15	%Wout 25.32 25.28 25.27 25.23 25.26 26.22 0.00 0.00 25.23 25.27 25.14 25.17	%out 25.79 25.75 25.77 25.71 25.73 26.67 0.00 0.00 25.72 25.76 25.76 25.64	FrqOut 60.00 60.00 60.00 60.00 60.00 0.00 0.0	%Cap 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 99.35 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00	Vbat 135.84 135.81 135.81 135.81 135.81 135.84 135.90 135.94 135.96 135.96 135.93	Tups 27.71 27.78 27.85 27.82 27.82 27.82 27.48 27.42 27.42 27.42 27.22 27.21 27.24	
Date 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013	Time 10:13:46 09:53:46 09:43:46 09:43:46 09:23:45 09:23:45 09:03:45 09:03:45 08:53:45 08:43:45 08:33:45 08:23:45	Smart-UP 9 Vmin 99.28 99.75 99.64 99.31 97.82 96.20 101.53 99.31 99.65 100.03 99.10 99.57	5 X 3000 Vmax 100.37 101.82 101.00 100.60 100.28 102.31 103.32 102.81 101.02 101.21 101.07 100.92	Vout 100.01 100.07 100.90 100.17 99.92 98.85 0.00 0.00 100.32 100.32 100.85 99.75	lout 6.18 6.15 6.12 6.15 6.46 0.00 0.00 6.12 6.15 6.09 6.15	%Wout 25.32 25.28 25.27 25.23 25.26 26.22 0.00 0.00 25.23 25.27 25.14 25.17	%out 25.75 25.75 25.77 25.71 25.73 26.67 0.00 25.72 25.76 25.76 25.64 25.66	FrqOut 60.00 60.00 60.00 60.00 60.00 0.00 0.0	%Cap 100.00 100.00 100.00 100.00 99.35 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00	Vbat 135.84 135.81 135.81 135.81 135.81 135.84 135.90 135.84 135.90 135.96 135.96 135.93	Tups 27.71 27.78 27.85 27.82 27.82 27.75 27.48 27.42 27.34	
Date 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013 03/13/2013	Time 10:13:46 09:53:46 09:43:46 09:43:45 09:23:45 09:23:45 09:03:45 08:53:45 08:43:45 08:23:45	Smart-UP 3 Vmin 99.28 99.75 99.64 99.31 97.82 96.20 101.53 99.31 99.65 100.03 99.10 99.57	5 X 3000 Vmax 100.37 101.82 101.00 100.60 100.28 102.81 101.07 101.21 101.07 100.92	Vout 100.01 100.07 100.90 100.17 99.92 98.85 0.00 0.00 100.32 100.32 100.85 99.75	lout 6.18 6.15 6.12 6.15 6.15 6.46 0.00 0.00 6.12 6.15 6.09 6.15	%Wout 25.32 25.28 25.27 25.23 25.26 26.22 26.22 0.00 0.00 25.23 25.27 25.14 25.17	%out 25.79 25.75 25.77 25.71 25.73 26.67 0.00 0.00 25.72 25.76 25.64 25.66	FrqOut 60.00 60.00 60.00 60.00 60.00 0.00 0.0	%Cap 100.00 100.00 100.00 100.00 99.35 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00	Vbat 135.84 135.81 135.81 135.81 135.81 135.84 135.90 135.84 135.90 135.96 135.96 135.93	Tups 27.71 27.78 27.85 27.82 27.82 27.42 27.48 27.42 27.39 27.22 27.21 27.34	

「Launch Log in New Window」ボタンを押すと、新しい画面が立ち上がりますので、ブラウザのメニューから[ファイル]→[名前を付けて保存]を選択し、ファイルの種類で「Web アーカイブ、単一のファイル (*.mht)」形式または「Web ページ、完全 (*.htm,*.html)」形式を指定して保存してください。

Cata Log - Windows Internet Explorer												
🕞 🕤 - 💋 htt	.tp://172.16.	1.162/NMC/8	JJ9RgOW+yN	l6jyiHGkpB1g/da	.ta.htm					🖌 😽 🗙 🖓	e	P -
ファイル(E) 編集(E)	表示(⊻)	お気に入り(A) ツール(I) ヘルプ(出)								
新しいタブ(<u>T</u>)		Ctrl+T			1					🐴 • 🗟 • 🖷	🌡 🔹 🔂 ページ(P) +) ツール(0) + *
新規ウィンドウ (N) 明く(の)		Ctrl+N	art-IIPS X	and LIDS V 3000								
編集(D)		Cunto	hin	Vmax	Vout	lout	%Wout	%out	FraOut	%Cap	Vbat	Tups
上書き保存(5)		Ctrl+S	28	100.37	100.01	6.18	25.32	25.79	60.00	100.00	135.84	27.71
名前を付けて保存(4	a)		9.20	101.82	100.07	6.15	25.32	25.75	60.00	100.00	135.81	27.78
タブを閉じる(<u>C</u>)		Ctrl+W	64	101.02	100.07	6.12	25.20	25.75	60.00	100.00	135.81	27.85
ページ設定(U)			0.04	100.60	100.00	6.15	25.23	25.71	60.00	100.00	135.91	27.00
印刷(P)		Ctrl+P	2.92	100.00	00.17	6.15	25.25	25.73	60.00	100.00	135.81	27.02
ED/毎Jブレビュー(⊻)			.82	100.20	99.92 00.05	6.46	20.20	20.75	60.00	00.00	135.01	27.02
送信(<u>E</u>)		•	1.20	102.31	0.00	0.40	0.00	20.07	0.00	100.00	135.04	27.10
インボートおよびエクノ 	スポート(<u>I</u>)		21.55	103.32	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	135.90	27.40
プロパティ(<u>R</u>)			0.31	102.81	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	135.84	27.42
オフライン作業(型)			9.65	101.07	100.32	6.12	25.23	25.72	60.00	100.00	135.90	27.39
終了(X)	00.00.00		00.03	101.21	100.32	6.15	25.27	25.76	60.00	100.00	135.96	27.22
03/13/2013	08:33:45	91	9.10	101.07	100.85	6.09	25.14	25.64	60.00	100.00	135.96	27.21
03/13/2013	08:23:45) 99	9.57	100.92	99.75	6.15	25.17	25.66	60.00	100.00	135.93	27.34
03/13/2013	08:13:45	i 1	00.00	101.01	100.62	6.12	25.19	25.69	60.00	100.00	135.93	27.32
03/13/2013	08:03:45	i 11	00.31	101.75	100.50	6.12	25.15	25.66	60.00	100.00	135.93	27.31
03/13/2013	07:53:45	i 11	00.65	101.90	101.18	6.09	25.21	25.73	60.00	100.00	135.93	27.33
03/13/2013	07:43:45	i 1/	00.29	103.45	100.93	6.31	26.10	26.60	60.00	99.89	135.90	27.40
03/13/2013	07:33:45	i 1/	00.18	103.54	103.39	2.40	9.98	10.44	60.00	99.07	135.93	27.37
03/13/2013	07:23:45	i 10	02.57	103.59	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	135.93	27.33
03/13/2013	07:13:45	5 1/	02.51	104.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	135.93	27.28
03/13/2013	07:03:45	j 9'	9.12	104.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	135.93	27.28
03/13/2013	06:53:45	i 91	/9.03	99.82	99.53	6.18	25.19	25.68	60.00	100.00	135.93	27.30
03/13/2013	06:43:45	j 91	9.03	100.07	99.73	6.18	25.22	25.71	60.00	100.00	135.93	27.30
03/13/2013	06:33:45	j 90	9.34	100.18	99.67	6.18	25.21	25.71	60.00	100.00	135.93	27.31
03/13/2013	06:23:45	j 90	8.64	100.31	99.78	6.15	25.21	25.71	60.00	100.00	135.93	27.30
03/13/2013	06:13:45	j 9'	9.46	100.29	100.00	6.15	25.19	25.69	60.00	100.00	135.96	27.24
03/13/2013	06:03:45	j 9'	9.46	100.25	99.73	6.15	25.18	25.67	60.00	100.00	135.96	27.19
03/13/2013	05:53:45	j 9'	9.20	100.53	100.09	6.15	25.23	25.73	60.00	100.00	135.93	27.39
03/13/2013	05:43:45	j 9'	/9.31	102.37	100.12	6.37	26.17	26.66	60.00	99.88	135.90	27.43
03/13/2013	05:33:45	j 1	00.96	103.89	102.35	2.43	9.99	10.46	60.00	99.06	135.90	27.38
03/13/2013	05:23:45	i 1	03,37	104.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	135.93	27.35
03/13/2013	05:13:45	5 1	02.96	103.98	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	135.93	27.33
03/13/2013	05:03:45	; 1	00.20	103.68	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	135.93	27.35
03/13/2013	04:53:45	; 1	00.20	101.23	100.40	6.15	25.25	25.75	60.00	100.00	135.90	27.39
03/13/2013	04:43:45	: 1	00.14	100.92	100.59	6.12	25.19	25.70	60.00	100.00	135.90	27.38
03/13/2013	04.93.45	- 0	00.20	100.02	100.00	6.12	20.10	25.70	60.00	100.00	125.00	27.30
03/13/2013	04.33.45	- 0	9.90	100.80	100.70	6.10	20.20	20.74	60.00	100.00	135.83	27.30
03/13/2013	04:23:40	- 4	9.81	100.90	100.59	0.12	20.17	20.07	60.00	100.00	130.93	27.30
03/13/2013	04:13:45		00.03	100.90	100.87	0.09	25.21	25.72	00.00	100.00	135.93	27.30
L03/13/2013 ファイルとしてこのドキュメ	04:0.3:45 いトを保存し	ます。	9.67	100.65	100.25	h 12	25.19	25 h9	60.00	100.00	1.35.9.3	₹ 100% +

※②Logs -> Events -> Log、③Logs -> Data -> Logともに、以下の方法で採取してください。 (保存方法その1)



「Web アーカイブ、単一のファイル (*.mht)」形式で保存する場合は、保存されるファイルが*.mhtファイルのみになり ますので、通常はこちらを推奨致します。ただし、複数のUPSに関する情報を採取される場合は、ファイル名の頭に識別 情報を付加するなどして、デフォルトのファイル名を変更して保存してください。

(保存方法その2)



「Webページ、完全(*.htm,*.html)」形式で保存する場合は、htmファイルとEvent Log files_という名前のフォルダが 作成されますので、その両方を送付してください。こちらについても、複数のUPSについて採取される場合は、ファイル名 の頭に識別情報を付加するなどして、デフォルトのファイル名を変更して保存してください。

④access control情報

「Configuration」のメニューを選択し、「Network」→「SMPv1」→「Access Control」と選択します。 下記Access Control 情報が表示されますので、メニューで[ファイル]→[名前を付けて保存]を選択し、②、③と同様の方法で情報をファイルに保存してください。

🗿 APC UP5 Network Man	agement Card 2	- Windows Internet Exp	lorer						
🗿 🕤 👻 💋 http://172	.16.1.162/NMC/0Ki	maYXo6UOIAWcbK05y5VQ/s	▼ ↔ ×						
ファイル(E) 編集(E) 表示(<u>V)</u> お気に入り(<u>A</u>)) ツール(I) ヘルプ(H)							
🍃 🚸 🛛 🝠 APC UPS Net	work Management	Card 2			🟠 • 🖻) - 🖶 - 🔂 K-9(B) • 🎯 ツール(<u>0</u>) • 🎽		
Schneider Electric	UPS Net	twork Managemen S/Matrix Application		🗳 No Alarms apc English Log Off Help 🛏-					
Home	Status	Control	Configuration	Tests	Logs	About			
Access Control Community Name public public2 private2		NM 172 172 0.0, 0.0,	S IP/Host Name 16.1.11 16.1.13 0.0 0.0		Access Type Write + Write + Disabled Disabled				
Knowledge Base Schne	ider Electric Prod	duct Page Schneider Ele	ctric Downloads		© 2012	, Schneider Electric. Al	I rights reserved.		
						ローカル イントラネット	🔍 100% 🔹 🖉		

6.9 Collect ログおよび IPMI ログ

ESMPRO/ServerAgent がインストールされている場合は、Collect ログおよび IPMI ログを採取してください。採取方法を 以下に示します。

◆ Collect ログの採取

Collect ログは、ESMPRO/ServerAgentの「collect.exe」で採取します。collect.exe はESMPRO/ServerAgent インス トールフォルダ(デフォルトは ¥ESM)の ¥tool フォルダ配下にあります。collect.exe を起動しますと、ログが 「¥tool¥log」フォルダ 配下に採取されます。

◆ IPMI ログの採取

IPMI ログは、ESMPRO/ServerAgent もしくは ESMPRO/ServerManager の「ESRAS ユーティリティ」で採取します。 ESRAS ユーティリティを起動し、ツリーより最新情報をクリックし、最新情報の取得を行います。その後、ツリーの 「Intelligent Platform Management Interface (IPMI) 情報」にマウスカーソルをあわせ、右クリックで表示され るメニューから「現在の IPMI 情報をバックアップする」を選択し、IPMI 情報をバックアップしてください。 ※ このとき、指定するファイル名は「ipmi.dat」にしてください。